

鴨川青少年自然の家

体験活動・詳細

〈 目 次 〉

	ページ
カッター研修	1
シーカヤック研修	5
野外炊事研修	11
創作活動	34
キャンプファイア	52
キャンドルサービス	56
ボンファイア	59
ウォークラリー	63
鴨青アドベンチャー	74
ナイトハイク	82

～ 「体験活動・詳細」について ～

鴨青で行える体験活動を紹介しています。予定している体験活動を事前に一読し、安全に体験活動が行えるよう、また目的を達成できるよう計画を立てる際にご活用ください。

～ 体験活動を通じて ～

子どもたちの「生きる力、学びに向かう力」を育むには、宿泊体験や自然との触れ合いが欠かせません。私たち所員は、五感を刺激する体験活動を通して、子どもたちが試行錯誤しながら発見、喜びを体感できるようお手伝いをいたします。

～ 研修計画の作成について ～

宿泊での研修を行う団体の多くは、自然体験や生活体験を通して、子どもたちの自主性を育むことを目的に訪れますが、活動を詰め込みすぎてゆとりのない場合があります。たくさん研修を行うことよりも、ゆとりを持って納得ができる学びの場づくりが重要であると私たちは考えています。「体験活動・詳細」は、研修計画表を作成していただくための参考資料です。研修計画表を作成する際は、子どもたちが時間に追われないゆとりのある計画の作成をお願いします。また、研修の組み合わせを工夫することによって無理のない研修計画づくりができます。計画づくりでお困りでしたら、是非ご相談ください。



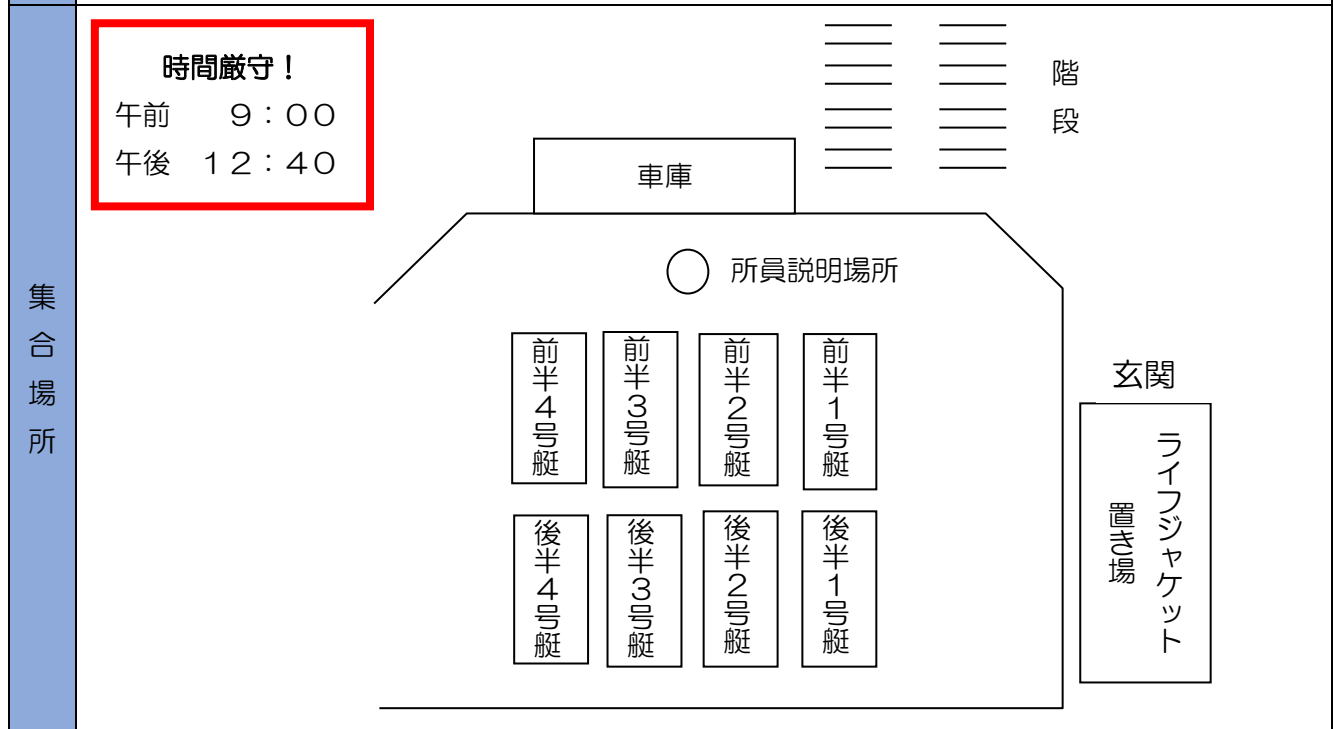
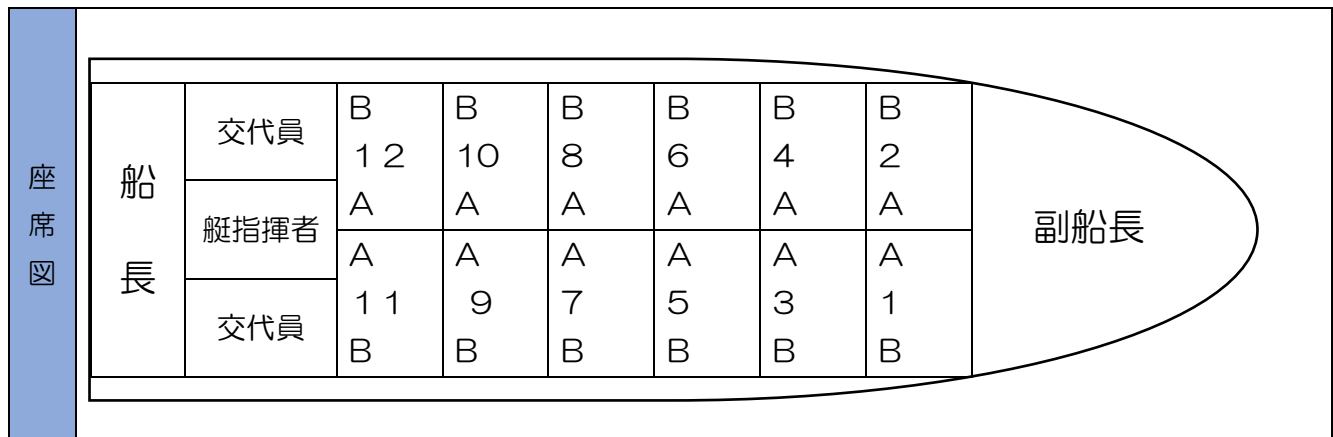
カッター研修

概要	鴨青の代表する活動の1つで、豊かな自然あふれる鴨川の海で、漕艇体験をします。			
目的	協調性や協力性を高めたり集中力を養ったりすることを目的としています。			
諸条件	【時期】	5～10月20日 ※日帰り団体も可能（ただし、宿泊団体優先）		
	【人数】	1艇22～27人（合計4艇）	【対象】	小学6年生以上
	【費用】	1艇につき6,820円	【所要時間】	100～145分（移動含む）
	【天候】	晴天のみ	【会場】	鴨川漁港
準備物	<p>団体が準備する物</p> <input type="checkbox"/> 熱中症対策			
	<p>研修生が準備する物</p> <input type="checkbox"/> カップ（雨具） <input type="checkbox"/> 帽子 <input type="checkbox"/> かかとの固定できる靴 <input type="checkbox"/> 飲み物 <input type="checkbox"/> タオル			
	<p>鴨青が貸し出す物</p> <input type="checkbox"/> ライフジャケット			

	項目	内容	備考
入所前 (手順)	事前準備	<input type="checkbox"/> 研修前の食事時間を決めます。 朝食A時間（7:00～8:00） 昼食A時間（11:30～12:30） <input type="checkbox"/> 各艇の乗員と各担当を決定します。 ※「カッター研修乗艇者名簿・活動計画表」を2週間前までに提出 ※乗艇者の中に配慮が必要な方がいる場合は、「活動計画表」に記入してください。	<input type="checkbox"/> カッター研修乗艇者名簿・活動計画表
		<input type="checkbox"/> 前半4艇・後半4艇の最大8艇で行います。 ※21人以下の団体は応相談 <input type="checkbox"/> 1艇の乗艇人数は、引率者・交代員を含めて最大27人、最小22人です。 <input type="checkbox"/> A席（内側）はB席（外側）に比べて体力が必要です。（A席には力のある人を配置） <input type="checkbox"/> 乗員へ自分の番号を周知させてください。 <input type="checkbox"/> 船酔いする乗員は、交代員の近くに配置してください。 <input type="checkbox"/> 人数により他団体と一緒に説明を受ける場合があります。 <input type="checkbox"/> 乗艇予定者は、カッター事前学習動画を必ず視聴してください。（全体説明の時間短縮のため）	<input type="checkbox"/> 資料1 <input type="checkbox"/> 資料1 <input type="checkbox"/> 資料1
当日 (手順)	実施確認	<input type="checkbox"/> チェックイン時に「体験活動注文表」を提出します。 <input type="checkbox"/> 参加者の健康観察を行ってください。 <input type="checkbox"/> 事務室前で実施確認をします。 午前の研修（8:20）、午後の研修（12:20）	<input type="checkbox"/> 体験活動注文表
	活動前	<input type="checkbox"/> 集合前にトイレを済ませてください。	

		<input type="checkbox"/> ライフジャケット・かかとの固定できる靴を着用してください。（時期に応じて要熱中症対策） <input type="checkbox"/> 車庫前に集合し、番号順に整列します。 午前研修（9：00） 午後研修（12：40） <input type="checkbox"/> 所員よりカッター研修の説明をします。（約15分）	<input type="checkbox"/> 資料1
	活動中	<input type="checkbox"/> 鴨川漁港まで徒歩で移動します。（約15分）※往路は所員の先導あり <input type="checkbox"/> 港に荷物を置き、所員の指示のもと乗船します。 <input type="checkbox"/> 各艇に必ず団体の引率者が乗船してください。 <input type="checkbox"/> 所員の指揮でカッター研修を開始します。 <input type="checkbox"/> 鴨青まで徒歩で帰所します。（約15分）※帰路は先導なし	
	活動後	<input type="checkbox"/> ライフジャケットのファスナーを締め、所定のラックに戻してください。 <input type="checkbox"/> 参加者の点呼、健康状態の確認をしてください。	
想定される リスク	<input type="checkbox"/> 天候の変化による事故（熱中症、船酔い、落雷等） <input type="checkbox"/> 研修中に起こるケガ（船べりに手や肘をはさむ、櫂が頭にぶつかる等） <input type="checkbox"/> 交通状況による事故（側溝への転落、曲がり角での事故、車との接触事故等）		
安全指導	<input type="checkbox"/> 状況に応じて、安全性確保のため艇数を調整する場合があります。 <input type="checkbox"/> 必ず熱中症対策（飲み物、タオル、帽子等）の準備をしてください。 <input type="checkbox"/> 交通ルールを守ってください。 ・原則、右側を一列で歩いてください。（帰りは同じ道を左側通行） ・道路は大型車両等も通りますので、十分に注意してください。 <input type="checkbox"/> 途中で体調不良者が出たり、緊急を要する場合は所員に連絡してください。 <input type="checkbox"/> 地震や津波等で避難を要する場合は所員の指示に従ってください。 ※資料2「カッター研修時の緊急避難場所」を参照		
中止判断	<input type="checkbox"/> 平均風速（10分間の平均）8m/s以上ある時 <input type="checkbox"/> 瞬間風速10m/s以上ある時 <input type="checkbox"/> 局地的変速風がある時 <input type="checkbox"/> 悪天候で荒波が予想される時、又は天候や潮流が急変した時 <input type="checkbox"/> 白波が見受けられる時 <input type="checkbox"/> 北東の風が強い時 <input type="checkbox"/> 波浪・大雨警報が出ている時 <input type="checkbox"/> 雷鳴が聞こえている時 <input type="checkbox"/> 鴨川漁協関係者の助言を基に所長が総合的に判断した時 <input type="checkbox"/> 急な天候の変化により、研修の続行が不可能と判断した時		

資料 1 座席図・集合場所・艇数早見表について



艇数早見表

艇数	1艇	2艇	3艇	4艇	5艇	6艇	7艇	8艇
乗艇人数	22~ 27人	44~ 54人	66~ 81人	88~ 108人	110~ 135人	132~ 162人	154~ 189人	176~ 216人

早見表に入らない人数の団体の場合、乗員が1人、前後半2回やることで調整してください。
(例) 35人の団体の場合/前半1艇24人、後半1艇24人で、そのうち13人が前後半2回行います。

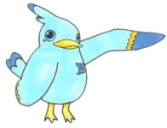
資料2 カッター研修時の緊急避難場所について

- (1) 地震により津波警報が発令された場合は、所員の指示で避難場所に移動する。
- (2) 引率者に利用者の列の間に入り誘導の補助をお願いします。
- (3) 人員や、ケガ人がいないかを速やかに確認する。
- (4) 避難所に着いたら人員の確認、けが人がいないかを速やかに確認する。
- (5) 所員は鴨青に連絡をして安否確認を報告する。

※利用者の安全が優先になるので周囲の確認をし、速やかに行う。

※避難場所までは7分程度の時間がかかるが、慌てず落ち着いて行動する。






シーカヤック研修

概要	ペアでカヤックに乗り、海の自然や変化を感じながら、パートナーと協力して操船する体験をします。			
目的	自然を全身に感じながらパートナーと海の変化に対応した操作をすることで、協調性や集中力を養うことができます。			
諸条件	【時期】	7月16日～10月末	【対象】	小学4年生以上・10人以上の団体
	【人数】	10～40人 (2人乗り20艇まで) ※1日最大160人 (160人以上の団体はお問い合わせください。)	【所要時間】	120分(バス移動を含む)
	【費用】	1人500円 宿泊利用の団体は1人200円	【会場】	江見太夫崎漁港
	【天候】	晴天・弱風(※天候の変化により研修中でも内容の変更、中止する場合があります)		
準備物	<p>研修生が準備する物</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/>濡れてもよい服装(シーカヤック研修は靴やズボン等が濡れます) <input type="checkbox"/>濡れてもよい靴 ※つま先、かかとが隠れるもの(サンダル、クロックス不可) <input type="checkbox"/>カッパ ※天候によりカッパの着用で研修が行える場合があります。カッパの貸し出しはありませんので事前にご用意ください。 <input type="checkbox"/>帽子 <input type="checkbox"/>飲み物 <input type="checkbox"/>タオル(帰りのバスで座席に敷くものとして) <input type="checkbox"/>着替え <input type="checkbox"/>バッグ等※風で飛ばないもの(研修中にタオル等を入れておくものとして) <p>鴨青が貸し出す物</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/>ライフジャケット 			

	項目	内容	備考
入所前 (手順)	事前準備	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 研修前の食事時間を決めます。 朝食A時間(7:00～8:00) 昼食A時間(11:30～12:30) <input type="checkbox"/> 各艇の乗員と各担当を決定します。 ※「シーカヤック研修乗艇者名簿・活動計画表」を2週間前までに提出 ※乗艇者の中に配慮が必要な方がいる場合は、「活動計画表」に記入してください。 <input type="checkbox"/> バス利用申請書の提出は必要ありません。 <input type="checkbox"/> 事前に資料1「シーカヤック研修・当日のながれ」の一読をお願いします。 	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> シーカヤック研修乗艇者名簿・活動計画表 <input type="checkbox"/> 資料1
当日 (手順)	実施確認	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> チェックイン時に「体験活動注文表」を提出します。 <input type="checkbox"/> 参加者の健康観察を行ってください。 <input type="checkbox"/> 事務室前で実施確認をします。 	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 体験活動注文表

		午前の研修（8：20）、午後の研修（12：20）	
	活動前	<input type="checkbox"/> 鴨青を出発する前にトイレを済ませてください。 <input type="checkbox"/> かかとの固定できる靴・濡れてもよい服装に着替え、 ライフジャケット（グループごとに身に付ける） を着用して、玄関前へ時間厳守で集合してください。 <input type="checkbox"/> バスに乗車、出発します。 ※時間厳守 出発時間 A班・9：00 B班・9：45 C班・13：00 D班・13：45	
	活動中	<input type="checkbox"/> 江見太夫崎漁港まで鴨青バスで移動します。（約15分） <input type="checkbox"/> 所員の指示のもと、待機場所に荷物を置き整列します。 <input type="checkbox"/> 所員から注意事項と操船方法の説明をします。（約15分） <input type="checkbox"/> 所員の指示で乗艇し、海上研修を開始します。（約50分、陸での写真撮影を含みます）	
	活動後	<input type="checkbox"/> 待機場所で水分補給をします。 <input type="checkbox"/> ライフジャケットはグループごとに鴨青まで持ち帰ります。 <input type="checkbox"/> バスに乗車する際には、所員よりシートカバーを受け取り、座席にシートカバーを敷き、その上に持参したタオルを敷いてから座ります。 <input type="checkbox"/> 鴨青まで鴨青バスで移動します。（約15分） <input type="checkbox"/> 鴨青に到着したら、使用したシートカバーを持参したタオルで拭いてからケースに戻します。 <input type="checkbox"/> 持ち帰ったライフジャケットを水洗いし、所定のラックに戻してください。	
想定される リスク	<input type="checkbox"/> 天候の変化による事故（熱中症、雨・風の変化、落雷等） <input type="checkbox"/> 海の変化による事故（潮流の変化、落水、他船との接触等） <input type="checkbox"/> 岸壁からの落水等 <input type="checkbox"/> 乗艇、下艇時の足元が濡れた場所での転倒等		
安全指導	<input type="checkbox"/> 指導者はシーカヤックインストラクターの資格を有する鴨青所員です。 <input type="checkbox"/> 救助ボート、所員用カヤックで救助体制を確保します。 <input type="checkbox"/> シーカヤックは、波や風の影響を受けやすい乗り物です。状況の変化に十分注意し、所員の指示に従って操船してください。 <input type="checkbox"/> 他のカヤックや係留している船との接触、追突に十分注意してください。 <input type="checkbox"/> 研修中は出港・入港の漁船に十分注意してください。 <input type="checkbox"/> シーカヤックは不安定な乗り物です。身を乗り出して横転や怪我などないように十分注意してください。 <input type="checkbox"/> 漕いでいるときにパドルを流した場合は、手を上げて大きな声で所員に伝えてください。 <input type="checkbox"/> 途中で体調不良者が出たり、船酔いをしたり、緊急を要する場合はパドルを立てて所員に知らせてください。 <input type="checkbox"/> 地震や津波等で避難を要する場合は所員の指示に従ってください。 ※資料2「シーカヤック研修・緊急避難場所マップ」を参照		

中止判断	<input type="checkbox"/> 平均風速（10分間の平均）8m/s以上ある時（北風時は平均風速5m/s以上） <input type="checkbox"/> 瞬間風速10m/s以上ある時 <input type="checkbox"/> 局地的変速風がある時 <input type="checkbox"/> 悪天候で荒天が予想される時、又は天候や潮流が急変した時 <input type="checkbox"/> 波浪・大雨警報が出ている時 <input type="checkbox"/> 雷鳴が聞こえている時 <input type="checkbox"/> 漁協関係者の助言を基に、所長が総合的に判断した時 <input type="checkbox"/> 急な天候の変化により、研修の続行が不可能と判断した時
座席図	<p style="text-align: center;">2人乗りシーカヤック</p>  <p>進行方向 ←</p> <p>前 A B 後</p> <input type="checkbox"/> A席（前方）に比べてB席（後方）は体力を必要とします。
その他	<input type="checkbox"/> 下記資料を事前に確認し、参考資料としてお使いください。 <ul style="list-style-type: none"> • 資料1 「シーカヤック研修・当日の流れ」 • 資料2 「シーカヤック研修・緊急避難場所マップ」 • 資料3 「シーカヤック研修・タイムテーブル」

資料1 シーカヤック研修・当日の流れ

- 1班40人、午前2班・午後2班で研修を実施します。
- 研修時間：午前・A時間から、午後・C時間からの研修開始になります。

事項	午前A班・40人 累積10～40人	午前B班・40人 累積41～80人	午後C班・40人 累積81～120人	午後D班・40人 累積121～160人
態度決定	午前の研修・8:20		午後の研修・12:20	
	・事務室受付にて実施確認をしてください。			
鴨青・出発	A班・9:00	B班・9:45	C班・13:00	D班・13:45
	・トイレを済ませ、濡れてもよい服装、濡れてもよい靴、飲み物、個々の荷物、ライフジャケットを着用し、バスに乗車後出発します。			
研修場所・到着	A班・9:15	B班・10:00	C班・13:15	D班・14:00
	・研修場所（江見太夫崎漁港）に着いたら、待機場所に集合			
説明開始	A班・9:20	B班・10:10	C班・13:20	D班・14:10
	・荷物を置いて、所員より説明を受けます。			
研修開始	A班・9:40	B班・10:30	C班・13:40	D班・14:30
	・所員の指示に従い乗艇します。海上研修開始 ・陸での写真撮影を含みます。			
研修終了	A班・10:30	B班・11:20	C班・14:30	D班・15:20
	・海上研修が終了したら、各自の荷物とライフジャケットを持ってバスに乗車します。			
研修場所・出発	A班・10:40	B班・11:30	C班・14:40	D班・15:30
	・バス入口で所員からシートカバーを受け取り、バスに乗車します。 ・シートカバーを敷き、その上に持参したタオルを敷いてから座ります。			
鴨青・到着	A班・10:55	B班・11:45	C班・14:55	D班・15:45
	・シートカバーをタオルで拭いてから所定のケースに戻します。 ・持ち帰ったライフジャケットは水洗いの後、所定のラックに戻してください。			

資料2 シーカヤック研修・緊急避難場所マップ



1. 地震により津波警報が発令された場合は鴨青所員の指示で避難場所へ移動してください。
 2. 所員の誘導により左図の経路を通り速やかに第一避難場所を目指して小走りに移動してください。
 3. 引率者は研修生の列の間に入り誘導の補助をお願いします。
 4. 避難場所に着いたら人員の確認、ケガ人がいないか速やかに確認してください。
 5. 所員は鴨青に連絡し、安否確認を報告します。
 6. 津波の状況により、更に高い避難場所(第二、第三)まで移動してください。
- ※利用者の安全が最優先なので周囲の確認をして速やかに行動してください。
 ※避難場所まで慌てず落ち着いて行動してください。

- ・ 第一避難場所
 海拔18m、●シーカヤック研修場所より徒歩10分
- ・ 第二避難場所
 海拔30m、●シーカヤック研修場所より徒歩15分
- ・ 第三避難場所
 海拔35m、●シーカヤック研修場所より徒歩16分



A・階段



B・分岐ポイント・左側へ進む



C・左折ポイント



第一避難場所



第二避難場所



第三避難場所

資料3 シーカヤック研修・タイムテーブル

態度決定 8:20	鴨青・出発	研修場所 ・到着	説明開始	研修開始	研修終了	研修場所 ・出発	鴨青・到着	
午前・A班	9:00	9:15	9:20	9:40	10:30	10:40	10:55	10名~40名 累計・10~40名
午前・B班	9:45	10:00	10:10	10:30	11:20	11:30	11:45	10名~40名 累計・41~80名

態度決定 12:20	鴨青・出発	研修場所 ・到着	説明開始	研修開始	研修終了	研修場所 ・出発	鴨青・到着	
午後・C班	13:00	13:15	13:20	13:40	14:30	14:40	14:55	10名~40名 累計・81~120名
午後・D班	13:45	14:00	14:10	14:30	15:20	15:30	15:45	10名~40名 累計・121~160名

		※中止の場合は食堂スタッフが注文メニューを作ります。	
	活動前	<input type="checkbox"/> 手洗い、手指消毒をし、野外炊事場に集合します。	
	活動中	<input type="checkbox"/> 所員よりカレーライスの調理の仕方を説明します。 ※説明開始時刻を開始30分前までに連絡してください。 (☎04-7093-1666) <input type="checkbox"/> カレーライスの調理開始 ※炊事用具は所員が立ち会い、貸し出します。	<input type="checkbox"/> 資料1～4
	活動後	<input type="checkbox"/> 炊事用具を洗い、所員の点検を受けます。 <input type="checkbox"/> ゴミを片付けます。 <input type="checkbox"/> かまどや周辺を清掃し、所員の点検を受けます。	<input type="checkbox"/> その他
想定される リスク	<input type="checkbox"/> 切り傷、やけど等のケガ <input type="checkbox"/> 熱中症 <input type="checkbox"/> 車との接触事故等（業者の車の往来）		
安全指導	<input type="checkbox"/> 事故を未然に防ぐため、野外炊事にあたっては、以下の項目を特に注意してください。団体の活動責任者の方は研修生全員に注意事項について事前指導をお願いします。 ①帽子をかぶるなど熱中症対策をしっかりとってください。 ②薪に虫がいる可能性があるため、長袖・長ズボンを着用するなど虫よけ対策を行ってください。 ③食材は野外炊事の説明を受けてから食堂に取りに行き、速やかに調理し食べてください。 ※研修後、余った食べ物を持ち帰らないようにしてください。 ④野外炊事開始前、終了後には石けんで手を洗い、手指消毒をしてください。 ⑤食材、調理器具は使用前・使用後に丁寧に洗い、貸出備品の消毒用アルコールで除菌をしてください。 ⑥細菌は熱に弱い生物です。調理食材は十分に加熱してください。 ⑦手に傷がある方は、直接食品に触れず、かまど作りや運搬などの作業を行ってください。 ⑧異物混入を防止するためにも、食材・調理品は、目の届くところで管理してください。 ⑨包丁・ナタ・火を使うので、切り傷・やけどなど、ケガに十分に注意してください。		
その他	<input type="checkbox"/> サンプル（保存検食）について ①調理済みの一部を検食袋に入れます。 ②サンプルはスプーン2杯程度を入れて食材冷蔵庫へ保管してください。 ※野外炊事で調理したものをサンプルとして一定期間保存しますのでご協力ください。 <input type="checkbox"/> 後片付け ①炊事用具等の片付け方・ゴミの処理の仕方 （ア）活動責任者の方は、後片付けを始めましたら事務室に連絡をしてください。 (☎04-7093-1666) （イ）生ゴミと燃えるゴミはゴミ袋と一緒に入れ、食堂下のゴミステーションにあるBOXに入れてください。 （ウ）使用した炊事用具はきれいに洗った後、ふきんで水気を拭き取り活動責任者の点検後、所員の点検を受けてから器具庫へと返却します。 ※詳細は資料1を参照してください。 ※調理器具を地面に放置することのないようにお願いします。 ※濡れていたり、ススや汚れが残っていたりする場合はやり直していただきます。 （エ）使った場所・流し場・かまど・ベンチ・トイレの周辺はきれいに掃除し、後片付けをし		

てください。

②かまどの片付け方

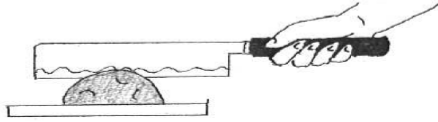
- (ア) 消火の仕方は、灰や燃え残りの薪を消火用金属バケツにかき出し、水を入れて消火します。※かまどには絶対に水をかけないでください。
- (イ) かまどには灰が残らないように火かき棒やほうきできれいに掃除します。
- (ウ) 全ての灰を入れ消火を確認したら灰汁を捨て、灰と燃えかすのみをゴミ袋に移し、食堂下のゴミステーションにある灰用金網カゴへ入れてください。
- (エ) かまどや周辺をほうきで綺麗にし、所員の点検を受けてください。

資料 1 カレーの作り方

(1) 調理の仕方 《お肉などのいたみやすい物や飲み物は、直前まで冷蔵庫に入れて保管します。》

※希望により飯盒炊飯の代わりに、温かいご飯を提供することができます。

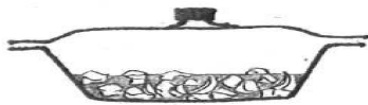
①食材を洗って切り自分たちの食べやすい大きさを相談して切りましょう。



☆ポイント☆

- ・野菜を切るときは平らな面を下にすると安全です。
- ・具は小さく薄く切ると早く煮えます。

②切った野菜・水を鍋に入れ、煮込みカレーを作ります。油で炒めないでください。



☆ポイント☆

- ・水は具が少し見えるくらいのヒタヒタにすると早く煮えます。多すぎると時間と火力が必要になります。

③水が沸騰したらお肉を入れてください。※お肉はおたまで直接鍋へ入れてください。

④お肉が白く野菜が柔らかくなるまで煮込みます。グツグツするまで蓋は開けないでください。

※水が少なくなったら少しずつ足します。

⑤具が煮えたら鍋を火から外し、カレールーを少しずつ鍋に入れて、好みのとろみに調整し、再度火にかけて煮立ったらできあがりです。

⑥片付けの時は、飯盒を水に濡らす前に、具やススを新聞紙などで綺麗にこすり取り、その後水につけて洗います。カレー鍋は内面の汚れを新聞紙で拭き取ってから、油は洗剤、ススはクレンザーで洗うとよく落ちます。取っ手などの磨き忘れに注意し、汚れが落ちたらふきんで水気を拭き、所員の点検を受けてください。

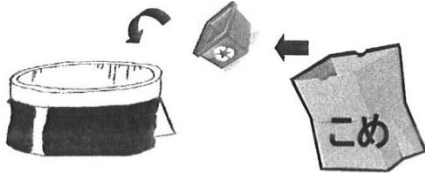
資料2 ご飯の炊き方

(1) 炊き方

～ 飯盒の種類 ～

- ・豆型飯盒（4合）※5人まで
- ・丸型飯盒（5合）※6人まで

①飯盒を洗い、お米用計量カップで人数にあわせてお米を計ります。

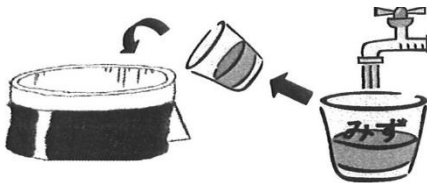


☆ポイント☆

- ※米用計量カップ1杯が1人分です。
- 例) 5人分ご飯を炊く時
- ・米用計量カップで米を5杯飯盒に入れる。

②飯盒に水を入れ静かにかき回し、水を流す時は手の平にうけながら3回ぐらい米とぎを繰り返します。

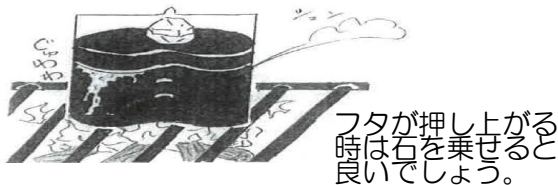
③水用計量カップで人数にあわせた分量の水を入れます。（20～30分ほど水を吸わせるとなおよい）



☆ポイント☆

- ※米とぎが終わったら、飯盒の水を全部捨てる。
- ※水用計量カップ160mlが1人分です。
- 例) 5人分ご飯を炊く時
- ・水用計量カップで水を160ml×5杯飯盒に入れる。

④フタをかぶせてかまどに置きます。たき付けの時から飯盒はセットしておき、徐々に強火にしていきます。



☆ポイント☆

- ・噴きこぼれが始めたらフタは開けずに放っておきます。徐々に噴きこぼれがなくなり白い蒸気になります。その蒸気が透明になりコトコトしなくなったら炊きあがりです。火から外して一口食べてみましょう。芯が残っていたら水を少し足してやり直します。

⑤炊きあがったら火から外して15分ほど蒸らしてできあがりです。

※蒸らしている時に、飯盒を逆さにしないでください。

☆ポイント☆

- ・ご飯をお皿によそったら水につけておくと後片付けが楽になります。

資料3 薪の割り方

(1) 火おこし《注意・・・食材の準備ができてから火をおこしましょう》

※小（焚き付け用）10～15本の準備

①軍手は薪を持つ手につけます。ナタを持つ手は滑らないように軍手はつけません。平らな場所に丸太台を置き、その上で薪を割ります。ナタを使っている人には近づかないようにしましょう。



・節があるものは堅い

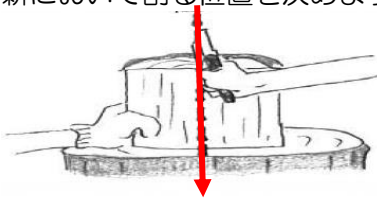


・木目がねじ曲がっている

☆ポイント☆

・切りにくい薪は無理に割らず火力増し用にします。

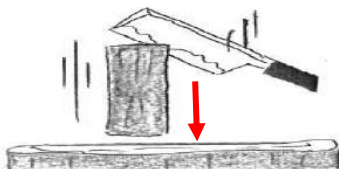
②ナタの刃を薪において割る位置を決めます。



☆ポイント☆

・手は下の方に添えます。刃の先には指を絶対に出しません。

③ナタは絶対に振り下ろさず、刃を当てたまま薪と一緒に打ちつけます。



☆ポイント☆

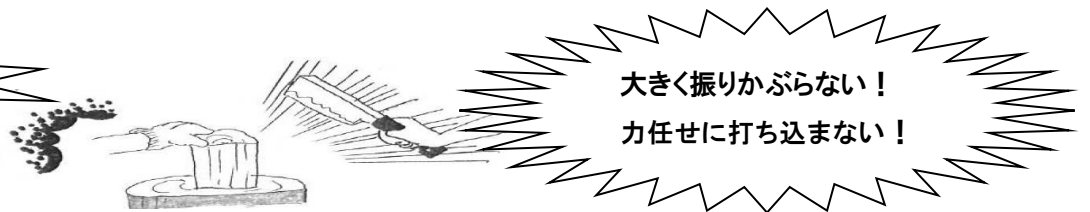
・太い薪はナタを斜めにするとう刃が食い込みやすくなります。

④刃が薪に食い込んだら両手でナタを持ち、トントンと少しずつ打ち込みます。早く打ち込んだり、一発で割ろうとしないでください。薪が跳ね返り、大ケガの元です。

※ナタは斜め（握った手が下）に保持して、刃先が薪台に当たる手前でとまるような力加減で、薪割りをおこないましょう。

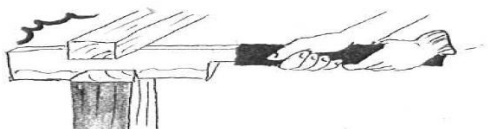
危険な割り方

《危険予知》



もし、刃の位置がずれたら…。 もし、周りに人がいたら…。 もし、薪が跳ね返ったら…

⑤薪が割れないときは無理には割らず、大人の人に手伝ってもらいましょう。



○補助の仕方○

一人が薪にナタの刃を添え、もう一人がナタの峰を薪で叩いて刃を食い込ませてあげましょう。
※力任せに叩かないようにしましょう。

(2) かまどの作り方（火おこし準備）

①薪割りが終わったら、割った薪は、かまどへ全部持っていきます。

②ナタは所員へ返却し、薪をまとめてあった針金は、所員の指示する所定の場所へ置いてください。

③薪割り台をもとの場所へ戻してください。

④次の画像の通りにかまどを組んでいきます。

※薪の仕分け、大（土台用3本、火力増し用）・中（火力増し用）・小（焚き付け用）

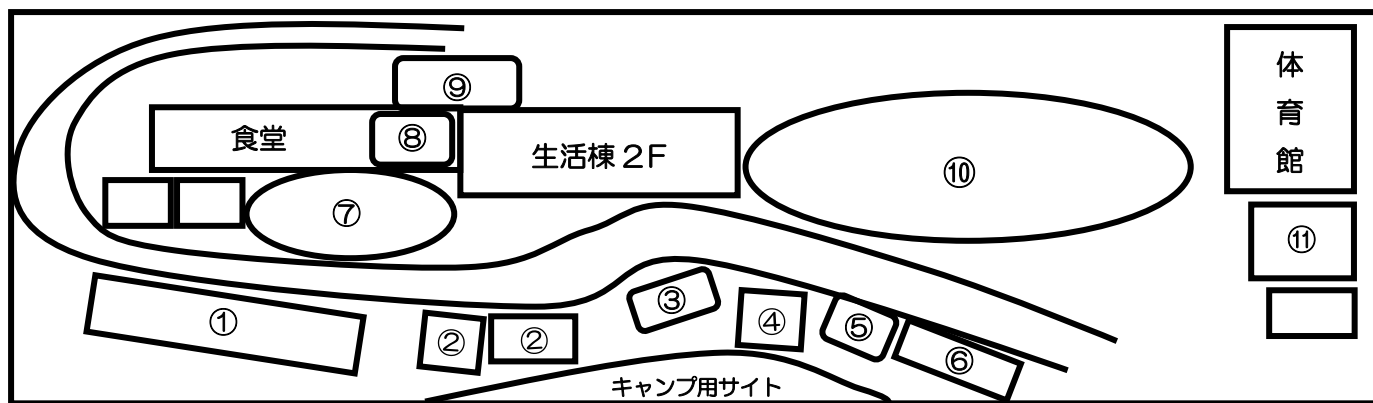


※食材の準備ができてから火をつけましょう。

※薪に火をつける時は、うちわであおがないでください。

※調理を終えた後、薪が燃えきっていなければ消火せず、薪が小さくなるまで燃やします。

資料 4 野外炊事場レイアウト

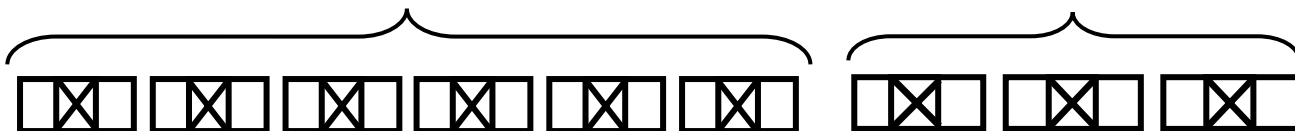


- ①第1炊事場 ②薪置き場 ③第1洗い場 ④器具庫 ⑤第2洗い場 ⑥第2炊事場
- ⑦薪割り場 ⑧食材置き場(冷蔵庫) ⑨ゴミステーション ⑩食事スペース ⑪屋外トイレ(男女別)

(1) 安全のため、なるべくかまどは間隔をあけて使用してください。使用するかまどの数は、第1炊事場12炉、第2炊事場6炉の併せて最大18炉以内が望ましいです。

第1炊事場

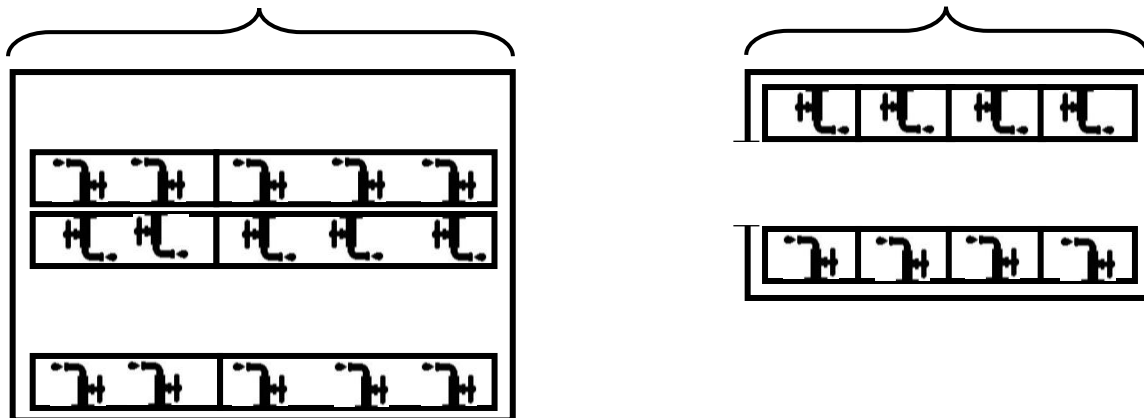
第2炊事場



(2) 第1洗い場の蛇口は3×3の9箇所、第2洗い場の蛇口は2×2の4箇所です。譲り合って使用してください。

第1洗い場

第2洗い場



	活動前	<input type="checkbox"/> 手洗い、手指消毒をし、野外炊事場に集合します。	
	活動中	<input type="checkbox"/> 所員より焼きそばの調理の仕方を説明します。 ※説明開始時刻を開始30分前までに連絡してください。 (☎04-7093-1666) <input type="checkbox"/> 焼きそばの調理開始 ※炊事用具は所員が立ち会い、貸し出します。	<input type="checkbox"/> 資料1～3
	活動後	<input type="checkbox"/> 炊事用具を洗い、所員点検を受けます。 <input type="checkbox"/> ゴミを片付けます。 <input type="checkbox"/> かまどや周辺を清掃し、所員の点検を受けます。	<input type="checkbox"/> その他
想定される リスク	<input type="checkbox"/> 切り傷、やけど等のケガ <input type="checkbox"/> 熱中症 <input type="checkbox"/> 車との接触事故等（業者の車の往来）		
安全指導	<input type="checkbox"/> 事故を未然に防ぐため、野外炊事にあたっては、以下の項目を特に注意してください。団体の活動責任者の方は研修生全員に注意事項について事前指導をお願いします。 ①帽子をかぶるなど熱中症対策をしっかりとってください。 ②薪に虫がいる可能性があるため、長袖・長ズボンを着用するなど虫よけ対策を行ってください。 ③食材は野外炊事の説明を受けてから食堂に取りに行き、速やかに調理し食べてください。 ※研修後、余った食べ物を持ち帰らないようにしてください。 ④野外炊事開始前、終了後には石けんで手を洗い、手指消毒をしてください。 ⑤食材、調理器具は使用前・使用後に丁寧に洗い、貸出備品の消毒用アルコールで除菌をしてください。 ⑥細菌は熱に弱い生物です。調理食材は十分に加熱してください。 ⑦手に傷がある方は、直接食品に触れず、かまど作りや運搬などの作業を行ってください。 ⑧異物混入を防止するためにも、食材・調理品は、目の届くところで管理してください。 ⑨包丁・ナタ・火を使うので、切り傷・やけどなどケガに十分に注意してください。		
その他	<input type="checkbox"/> サンプル（保存検食）について ①調理済みの一部を検食袋に入れます。 ②サンプルはスプーン2杯程度を入れて食材冷蔵庫へ保管してください。 ※野外炊事で調理したものをサンプルとして一定期間保存しますのでご協力ください。 <input type="checkbox"/> 後片付け ①炊事用具等の片付け方・ゴミの処理の仕方 (ア) 活動責任者の方は、後片付けを始めましたら事務室に連絡をしてください。 (☎04-7093-1666) (イ) 生ゴミと燃えるゴミはゴミ袋と一緒に入れ、食堂下のゴミステーションにあるBOXに入れてください。 (ウ) 使用した炊事用具はきれいに洗った後、ふきんで水気を拭き取り活動責任者の点検後、所員の点検を受けてから器具庫へ返却します。 ※詳細は資料1を参照してください。 ※調理器具を地面に放置することのないようにお願いします。 ※濡れていたり、ススや汚れが残っていたりする場合はやり直していただきます。 (エ) 使った場所・流し場・かまど・ベンチ・トイレの周辺はきれいに掃除し、後片付けをしてください。		

(オ) 使用して残った油と調味料は食堂へ返却します。

②かまどの片付け方

(ア) 消火のしかたは、灰や燃え残りの薪を消火用金属バケツにかき出し、水を入れて消火します。※かまどには絶対に水をかけないでください。

(イ) かまどには灰が残らないように火かき棒やほうきできれいに掃除します。

(ウ) 全ての灰を入れ消火を確認したら灰汁を捨て、灰と燃えかすのみをゴミ袋に移し、食堂下のゴミステーションにある灰用金網カゴへ入れてください。※かまどには絶対に水をかけないでください。

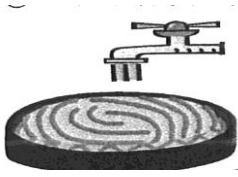
(エ) かまどや周辺をほうきで綺麗にし、所員の点検を受けてください。

資料1 焼きそばの作り方

(1) 調理の仕方 《お肉などのいたみやすい物や飲み物は、直前まで冷蔵庫に入れて保管します。》

- ①食材は切れているので、鉄板でお肉と野菜と一緒に炒めてから、麺を入れて麺をほぐしていきます。
※鉄板が小さいので、一度に焼く分量は4人分程度で焼いてください。

- ②最後に粉ソースを入れて、できあがりです。



☆ポイント☆

- 焼きそばをざるに移し、あらかじめ水で洗いほぐしておきましょう。お肉と野菜を先に炒めてから麺を入れるとふっくらと美味しく仕上がります。
- 麺をほぐす前にヘラで少し麺を切ると盛り付けをする時やりやすくなります。

- ③片付けは水に濡らす前に、具やススを新聞紙などで綺麗にこすり取り、その後に水につけて洗います。油は洗剤、ススはクレンザーで洗うとよく落ちます。汚れが落ちたらふきんで水気を拭き、所員の点検を受け最後に鉄板に油をぬってください。

資料2 薪の割り方

(1) 火おこし《注意・・・食材の準備ができてから火をおこしましょう》

※小（焚き付け用）10～15本の準備

①軍手は薪を持つ手につけます。ナタを持つ手は滑らないように軍手はつけません。平らな場所に丸太台を置き、その上で薪を割ります。ナタを使っている人には近づかないようにしましょう。



・節があるものは堅い

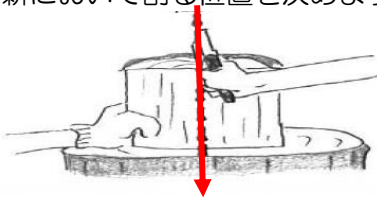


・木目がねじ曲がっている

☆ポイント☆

・切りにくい薪は無理に割らず火力増し用にします。

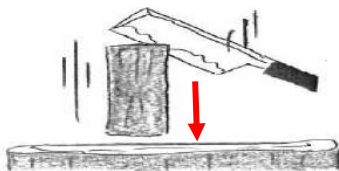
②ナタの刃を薪において割る位置を決めます。



☆ポイント☆

・手は下の方に添えます。刃の先には指を絶対に出しません。

③ナタは絶対に振り下ろさず、刃を当てたまま薪と一緒に打ちつけます。



☆ポイント☆

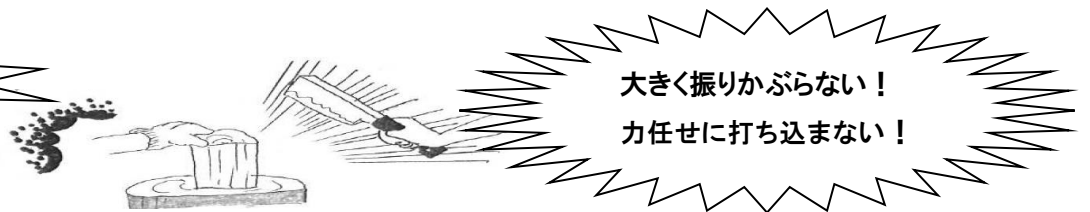
・太い薪はナタを斜めにするとう刃が食い込みやすくなります。

④刃が薪に食い込んだら両手でナタを持ち、トントンと少しずつ打ち込みます。早く打ち込んだり、一発で割ろうとしないでください。薪が跳ね返り、大ケガの元です。

※ナタは斜め（握った手が下）に保持して、刃先が薪台に当たる手前でとまるような力加減で、薪割りをおこなひましょう。

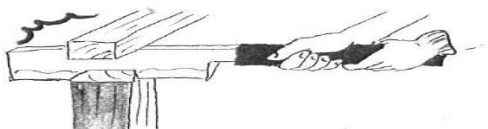
危険な割り方

《危険予知》



もし、刃の位置がずれたら…。 もし、周りに人がいたら…。 もし、薪が跳ね返ったら…

⑤薪が割れないときは無理には割らず、大人の人に手伝ってもらいましょう。



○補助の仕方○

一人が薪にナタの刃を添え、もう一人がナタの峰を薪で叩いて刃を食い込ませてあげましょう。
※力任せに叩かないようにしましょう。

(2) かまどの作り方（火おこし準備）

①薪割りが終わったら、割った薪は、かまどへ全部持っていきます。

②ナタは所員へ返却し、薪をまとめてあった針金は、所員の指示する所定の場所へ置いてください。

③薪割り台をもとの場所へ戻してください。

④次の画像の通りにかまどを組んでいきます。

※薪の仕分け、大（土台用3本、火力増し用）・中（火力増し用）・小（焚き付け用）

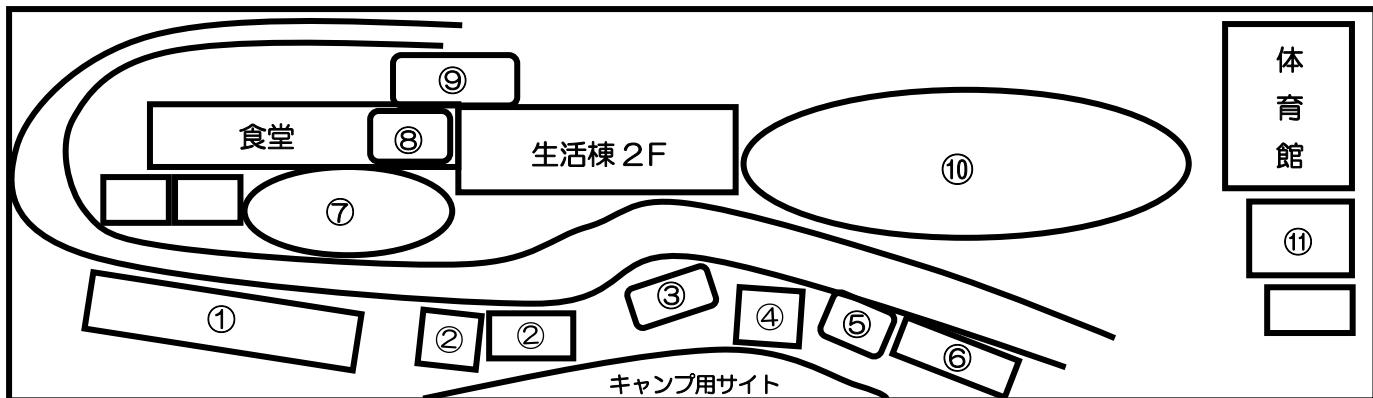


※食材の準備ができてから火をつけましょう。

※薪に火をつける時は、うちわであおがないでください。

※調理を終えた後、薪が燃えきっていなければ消火せず、薪が小さくなるまで燃やします。

資料3 野外炊事場レイアウト

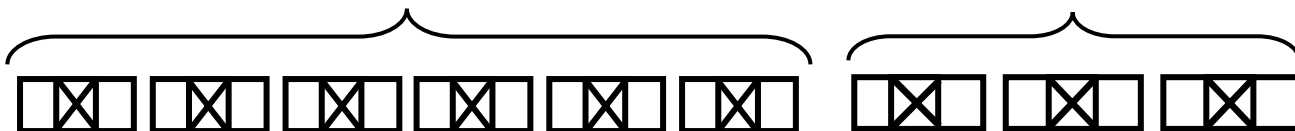


- ①第1炊事場 ②薪置き場 ③第1洗い場 ④器具庫 ⑤第2洗い場 ⑥第2炊事場
 ⑦薪割り場 ⑧食材置き場(冷蔵庫) ⑨ゴミステーション ⑩食事スペース ⑪屋外トイレ(男女別)

(1) 安全のため、なるべくかまどは間隔をあけて使用してください。使用するかまどの数は、第1炊事場12炉、第2炊事場6炉の併せて最大18炉以内が望ましいです。

第1炊事場

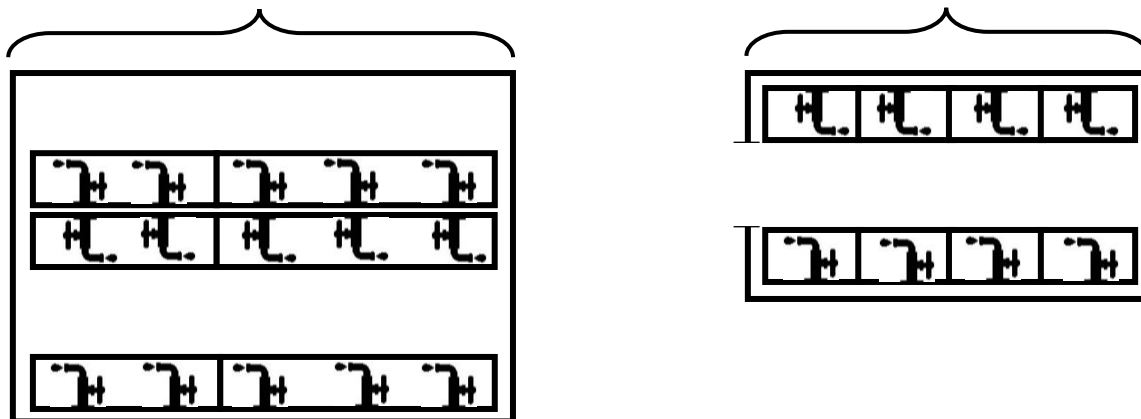
第2炊事場



(2) 第1洗い場の蛇口は3×3の9箇所、第2洗い場の蛇口は2×2の4箇所です。譲り合って使用してください。

第1洗い場

第2洗い場



		※中止の場合は食堂スタッフが注文メニューを作ります。	
	活動前	<input type="checkbox"/> 手洗い、手指消毒をし、野外炊事場に集合します。	
	活動中	<input type="checkbox"/> 所員より鉄板バーベキューの調理の仕方を説明します。 ※説明開始時刻を開始30分前までに連絡してください。 (☎04-7093-1666) <input type="checkbox"/> 鉄板バーベキューの調理開始 ※炊事用具は所員が立ち会い、貸し出します。	<input type="checkbox"/> 資料1～4
	活動後	<input type="checkbox"/> 炊事用具を洗い、所員の点検を受けます。 <input type="checkbox"/> ゴミを片付けます。 <input type="checkbox"/> かまどや周辺を清掃し、所員の点検を受けます。	<input type="checkbox"/> その他
想定される リスク	<input type="checkbox"/> 切り傷、やけど等のケガ <input type="checkbox"/> 熱中症 <input type="checkbox"/> 車との接触事故等（業者の車の往来）		
安全指導	<input type="checkbox"/> 事故を未然に防ぐため、野外炊事にあたっては、以下の項目を特に注意してください。団体の活動責任者の方は研修生全員に注意事項について事前指導をお願いします。 ①帽子をかぶるなど熱中症対策をしっかりとってください。 ②薪に虫がいる可能性があるため、長袖・長ズボンを着用するなど虫よけ対策を行ってください。 ③食材は野外炊事の説明を受けてから食堂に取りに行き、速やかに調理し食べてください。 ※研修後、余った食べ物を持ち帰らないようにしてください。 ④野外炊事開始前、終了後には石けんで手を洗い、手指消毒をしてください。 ⑤食材、調理器具は使用前・使用後に丁寧に洗い、貸出備品の消毒用アルコールで除菌をしてください。 ⑥細菌は熱に弱い生物です。調理食材は十分に加熱してください。 ⑦手に傷がある方は、直接食品に触れず、かまど作りや運搬などの作業を行ってください。 ⑧異物混入を防止するためにも、食材・調理品は、目の届くところで管理してください。 ⑨包丁・ナタ・火を使うので、切り傷・やけどなどケガに十分に注意してください。		
その他	<input type="checkbox"/> サンプル（保存検食）について ①調理済みの一部を検食袋に入れます。 ②サンプルはスプーン2杯程度を入れて食材冷蔵庫へ保管してください。 ※野外炊事で調理したものをサンプルとして一定期間保存しますのでご協力ください。 <input type="checkbox"/> 後片付け ①炊事用具等の片付け方・ゴミの処理の仕方 (ア) 活動責任者の方は、後片付けを始めたなら事務室に連絡をしてください。 (☎04-7093-1666) (イ) 生ゴミと燃えるゴミはゴミ袋と一緒に入れ、食堂下のゴミステーションにあるBOXに入れてください。 (ウ) 使用した炊事用具はきれいに洗った後、ふきんで水気を拭き取り活動責任者の点検後、所員の点検を受けてから器具庫へ返却します。 ※詳細は資料1を参照してください。 ※調理器具を地面に放置することのないようにお願いします。 ※濡れていたり、ススや汚れが残っていたりする場合はやり直していただきます。 (エ) 使った場所・流し場・かまど・ベンチ・トイレの周辺はきれいに掃除し、後片付けをし		

てください。

(オ) 使用して残った油と調味料は食堂へ返却します。

②かまどの片付け方

(ア) 消火のしかたは、灰や燃え残りの薪を消火用金属バケツにかき出し、水を入れて消火します。※かまどには絶対に水をかけないでください。

(イ) かまどには灰が残らないように火かき棒やほうきできれいに掃除します。

(ウ) 全ての灰を入れ消火を確認したら灰汁を捨て、灰と燃えかすのみをゴミ袋に移し、食堂下のゴミステーションにある灰用金網カゴへ入れてください

(エ) かまどや周辺をほうきで綺麗にし、所員の点検を受けてください。

資料1 鉄板バーベキューの作り方

(1) 調理の仕方 《お肉などのいたみやすい物や飲み物は、直前まで冷蔵庫に入れて保管します。》
(希望により飯盒炊飯の代わりに、温かいご飯を提供することができます。)

①飯盒の準備をして火にかけましょう。

②食材は切れているので、鉄板でお肉と野菜を焼いてできあがりです。

※お肉は味付けがしてあります(豚ローススライス150g×4枚/1人分)



.....
.....
..... ☆ポイント☆
..... ・飯盒のご飯ができあがるころに肉を焼き始める
..... と一緒に食べられます。
.....
.....

③片付けは水に濡らす前に、具やススを新聞紙などで綺麗にこすり取り、その後に水につけて洗います。油は洗剤、ススはクレンザーで洗うとよく落ちます。汚れが落ちたらふきんで水気を拭き、所員の点検を受け最後に鉄板に油をぬってください。

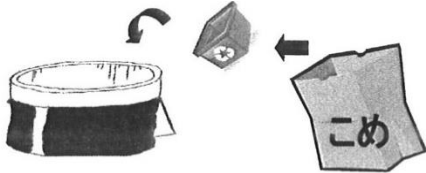
資料2 ご飯の炊き方

(1) 炊き方

～ 飯盒の種類 ～

- ・豆型飯盒（4合）※5人まで
- ・丸型飯盒（5合）※6人まで

①飯盒を洗い、お米用計量カップで人数にあわせてお米を計ります。

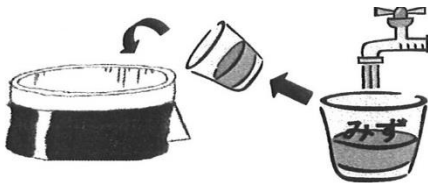


☆ポイント☆

- ※米用計量カップ 1 杯が 1 人分です。
- 例) 5人分ご飯を炊く時
- ・米用計量カップで米を5杯飯盒に入れる。

②飯盒に水を入れ静かにかき回し、水を流す時は手の平にうけながら3回ぐらい米とぎを繰り返します。

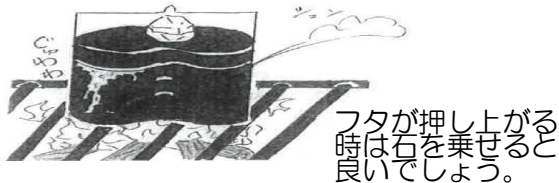
③水用計量カップで人数にあわせた分量の水を入れます。（20～30分ほど水を吸わせるとなおよい）



☆ポイント☆

- ※米とぎが終わったら、飯盒の水を全部捨てる。
- ※水用計量カップ 160ml が 1 人分です。
- 例) 5人分ご飯を炊く時
- ・水用計量カップで水を160ml × 5杯飯盒に入れる。

④フタをかぶせてかまどに置きます。たき付けの時から飯盒はセットしておき、徐々に強火にしていきます。



☆ポイント☆

- ・噴きこぼれが始めたらフタは開けずに放っておきます。徐々に噴きこぼれがなくなり白い蒸気になります。その蒸気が透明になりコトコトしなくなったら炊きあがりです。火から外して一口食べてみましょう。芯が残っていたら水を少し足してやり直します。

⑤炊きあがったら火から外して15分ほど蒸らしてできあがりです。

※蒸らしている時に、飯盒を逆さにしないでください。

☆ポイント☆

- ・ご飯をお皿によそったら水につけておくと後片付けが楽になります。

資料3 薪の割り方

(1) 火おこし《注意・・・食材の準備ができてから火をおこしましょう》

※小（焚き付け用）10～15本の準備

①軍手は薪を持つ手につけます。ナタを持つ手は滑らないように軍手はつけません。平らな場所に丸太台を置き、その上で薪を割ります。ナタを使っている人には近づかないようにしましょう。



・節があるものは堅い

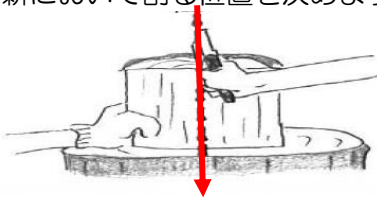


・木目がねじ曲がっている

☆ポイント☆

・切りにくい薪は無理に割らず火力増し用にします。

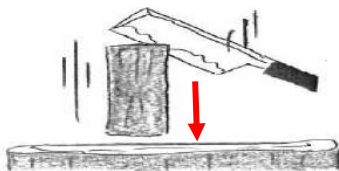
②ナタの刃を薪において割る位置を決めます。



☆ポイント☆

・手は下の方に添えます。刃の先には指を絶対に出しません。

③ナタは絶対に振り下ろさず、刃を当てたまま薪と一緒に打ちつけます。



☆ポイント☆

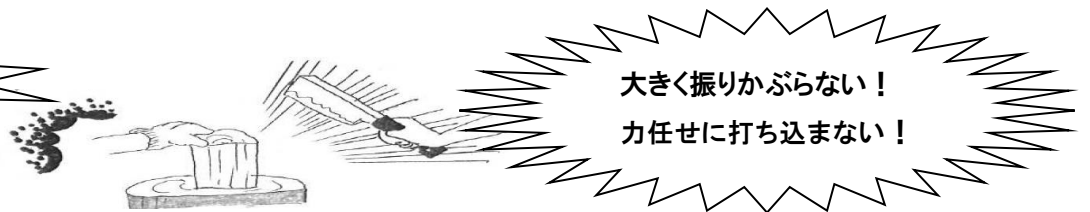
・太い薪はナタを斜めにするとう刃が食い込みやすくなります。

④刃が薪に食い込んだら両手でナタを持ち、トントンと少しずつ打ち込みます。早く打ち込んだり、一発で割ろうとしないでください。薪が跳ね返り、大ケガの元です。

※ナタは斜め（握った手が下）に保持して、刃先が薪台に当たる手前でとまるような力加減で、薪割りをおこなひましょう。

危険な割り方

《危険予知》

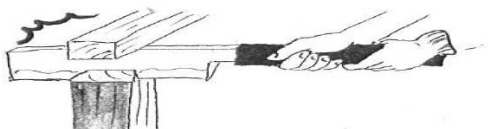


大きく振りかぶらない！

力任せに打ち込まない！

もし、刃の位置がずれたら…。 もし、周りに人がいたら…。 もし、薪が跳ね返ったら…

⑤薪が割れないときは無理には割らず、大人の人に手伝ってもらいましょう。



○補助の仕方○

一人が薪にナタの刃を添え、もう一人がナタの峰を薪で叩いて刃を食い込ませてあげましょう。
※力任せに叩かないようにしましょう。

(2) かまどの作り方（火おこし準備）

①薪割りが終わったら、割った薪は、かまどへ全部持っていきます。

②ナタは所員へ返却し、薪をまとめてあった針金は、所員の指示する所定の場所へ置いてください。

③薪割り台をもとの場所へ戻してください。

④次の画像の通りにかまどを組んでいきます。

※薪の仕分け、大（土台用3本、火力増し用）・中（火力増し用）・小（焚き付け用）

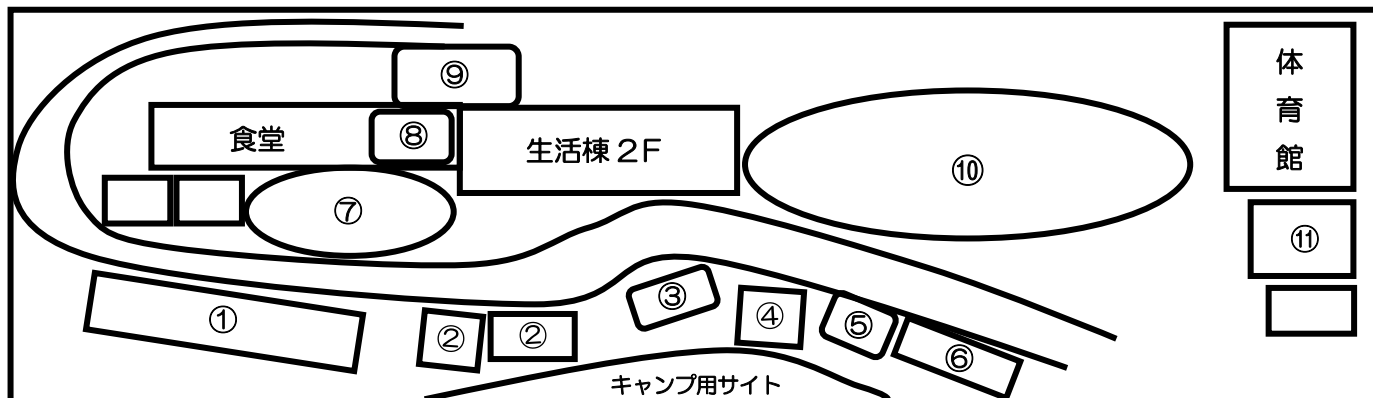


※食材の準備ができてから火をつけましょう。

※薪に火をつける時は、うちわであおがないでください。

※調理を終えた後、薪が燃えきっていなければ消火せず、薪が小さくなるまで燃やします。

資料4 野外炊事場レイアウト

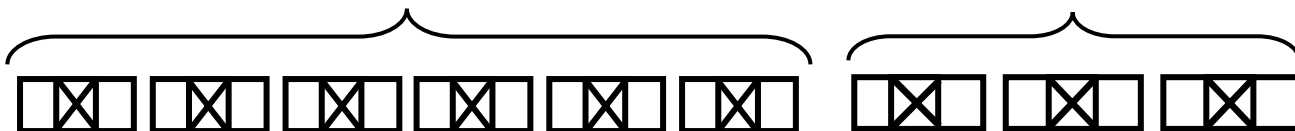


- ①第1炊事場 ②薪置き場 ③第1洗い場 ④器具庫 ⑤第2洗い場 ⑥第2炊事場
 ⑦薪割り場 ⑧食材置き場(冷蔵庫) ⑨ゴミステーション ⑩食事スペース ⑪屋外トイレ(男女別)

(1) 安全のため、なるべくかまどは間隔をあけて使用してください。使用するかまどの数は、第1炊事場12炉、第2炊事場6炉の併せて最大18炉以内が望ましいです。

第1炊事場

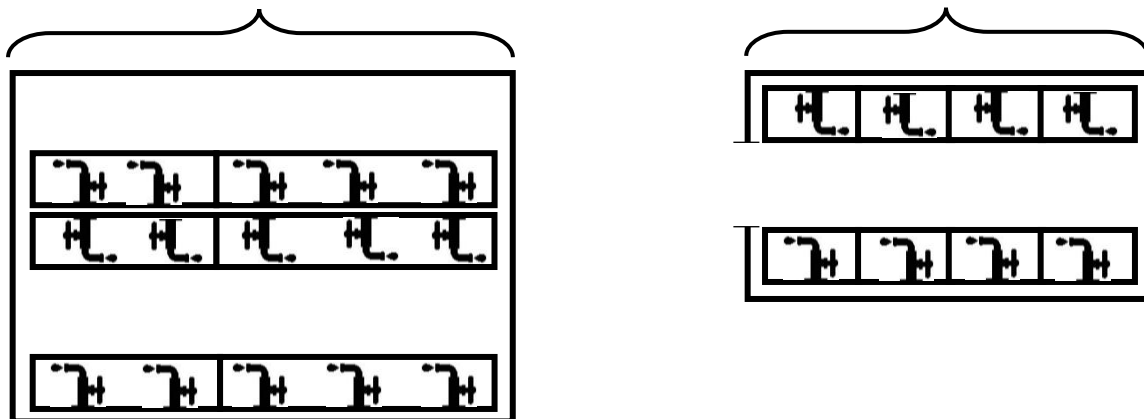
第2炊事場

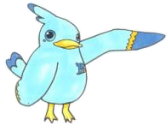


(2) 第1洗い場の蛇口は3×3の9箇所、第2洗い場の蛇口は2×2の4箇所です。譲り合って使用してください。

第1洗い場

第2洗い場





切り絵

概要	古来神事として伝承されてきた切り絵文化に対して理解を深めるとともに、緻密な作業により作品を完成させる喜びを体験します。			
目的	1つの絵を完成させるためにカッターを上手にを使って作業をし、集中力を養います。			
諸条件	【時期】	通年	【対象】	どなたでも
	【人数】	最大定員120人 ※人数が多い場合は応相談	【所要時間】	60～180分
	【費用】	150円（実施した場合のみ）	【会場】	鴨青
	【天候】	雨天可		
準備物	鴨青が貸し出す物 <input type="checkbox"/> 切り抜き用カッター <input type="checkbox"/> カッターマット <input type="checkbox"/> スティックのり <input type="checkbox"/> ゴミ袋 <input type="checkbox"/> 筆記用具			

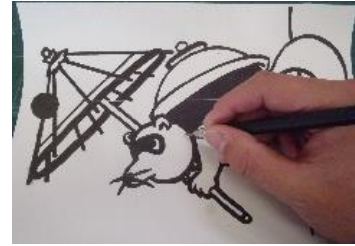
	項目	内容	備考
入所前 (手順)	事前準備	<input type="checkbox"/> ゆとりある研修計画を立てます。 午前の創作活動時間（9：00～12：00） 午後の創作活動時間（13：00～16：00） <input type="checkbox"/> 使用できる研修室は、第1研修室（90人）、第3研修室（36人）、第4研修室（60人）、第5研修室（60人）、創作室（36人） ※第4～5研修室を通して使用する場合は120人可能	
当日 (手順)	実施確認	<input type="checkbox"/> チェックイン時に「体験活動注文表」を提出します。	<input type="checkbox"/> 体験活動注文表
	活動前	<input type="checkbox"/> 研修室に集合します。 <input type="checkbox"/> 手元にある道具を確認します。	
	活動中	<input type="checkbox"/> 所員より切り絵の作り方や留意点の説明をします。 <input type="checkbox"/> 研修生の創作活動を開始します。	<input type="checkbox"/> 資料1
	活動後	<input type="checkbox"/> 使用した道具やゴミを片付けます。 <input type="checkbox"/> 研修室の掃除、整理整頓をして元の状態に戻します。	
想定される リスク	<input type="checkbox"/> 研修室内を走り回ることによるケガ（人と人との接触事故等） <input type="checkbox"/> 道具を振り回すことによるケガ <input type="checkbox"/> 切り抜き用カッターを使用することによるケガ（切り傷等）		
安全指導	<input type="checkbox"/> 道具を丁寧かつ安全に使用してください。（振り回したり、投げたりしない等） <input type="checkbox"/> 地震や津波等で避難を要する場合は、所員の指示に従ってください。		
その他	<input type="checkbox"/> 1団体に所員1人で研修を行います。		

資料1 切り絵の作り方について

①白ぬき、黒ぬきかを確認します。



②切り抜く部分は、小さい方から大きい方へ切り込みを入れます。

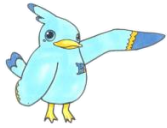


③切り絵を裏返し、上から切り絵→色紙→板目表紙となるようにのりづけをします。



④袋に入れたら完成です。





ジェルキャンドル

概要	鴨川の地域や体験したことをイメージしながら、オリジナルのキャンドルを完成させる喜びを体験します。			
目的	様々な色の砂を重ね入れ、グラス内の限られたスペースに、自分がイメージした世界を創造する表現力を養います。			
諸条件	【時期】	通年	【対象】	どなたでも
	【人数】	最大定員36人 ※人数が多い場合は応相談	【所要時間】	60～120分
	【費用】	850円（実施した場合のみ）	【会場】	鴨青
	【天候】	雨天可		
準備物	鴨青が貸し出す物 □ヤカン □IH器具 □ピンセット □新聞紙 □ゴミ袋			

	項目	内容	備考
入所前 (手順)	事前準備	<input type="checkbox"/> ゆとりある研修計画を立てます。 午前の創作活動時間（9：00～12：00） 午後の創作活動時間（13：00～16：00） <input type="checkbox"/> 使用できる研修室は、第1研修室（90人）、第3研修室（36人）、第4研修室（60人）、第5研修室（60人）、創作室（36人） ※第4～5研修室を通して使用する場合は120人可能	
	当日 (手順)	実施確認 <input type="checkbox"/> チェックイン時に「体験活動注文表」を提出します。	<input type="checkbox"/> 体験活動注文表
	活動前	<input type="checkbox"/> 研修室に集合します。 <input type="checkbox"/> 手元にある道具を確認します。	
	活動中	<input type="checkbox"/> 所員よりジェルキャンドルの作り方や留意点の説明をします。 <input type="checkbox"/> 研修生の創作活動を開始します。	<input type="checkbox"/> 資料1
	活動後	<input type="checkbox"/> 使用した道具やゴミを片付けます。 <input type="checkbox"/> 研修室の掃除、整理整頓をして元の状態に戻します。	
想定される リスク		<input type="checkbox"/> 研修室内を走り回ることによるケガ（人と人との接触事故等） <input type="checkbox"/> 道具を振り回すことによるケガ <input type="checkbox"/> ヤカンを使用することによるケガ（火傷等）	
安全指導		<input type="checkbox"/> 道具を丁寧かつ安全に使用してください。（振り回したり、投げたりしない等） <input type="checkbox"/> ヤカンを持つ際は必ず軍手を着用してください。 <input type="checkbox"/> 地震や津波等で避難を要する場合は、所員の指示に従ってください。	
その他		<input type="checkbox"/> 1団体に所員1人で研修を行います。 <input type="checkbox"/> 装飾については、ウォークラリーや磯遊び等で取ってきた貝殻や植物を使用することもできます。 <input type="checkbox"/> 代替プログラム適用不可です。	

資料1 ジェルキャンドルの作り方について

①グラスに様々な色の砂を入れて層を作ります。



②砂の上で装飾をします。

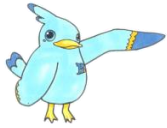


③ジェルを入れます。※所員が行う場合もあります。



④ジェルが固まり次第、ろう芯を入れたら完成です。





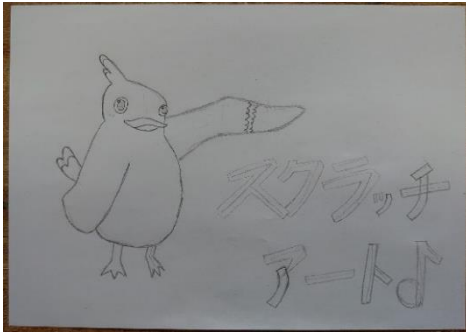
スクラッチアート

概要	削ることで模様の浮かび上がる幻想的なスクラッチアートの面白さを知り、世界で1つだけの作品を作り上げる楽しさを体験します。			
目的	自分の思い描いた世界をスクラッチアートで表現し、想像力や集中力を養います。			
諸条件	【時期】	通年	【対象】	どなたでも
	【人数】	最大定員120人 ※人数が多い場合は応相談	【所要時間】	60～120分
	【費用】	100円（実施した場合のみ）	【会場】	鴨青
	【天候】	雨天可		
準備物	鴨青が貸し出す物 <input type="checkbox"/> スクラッチペン <input type="checkbox"/> 新聞紙 <input type="checkbox"/> ゴミ袋 <input type="checkbox"/> 筆記用具			

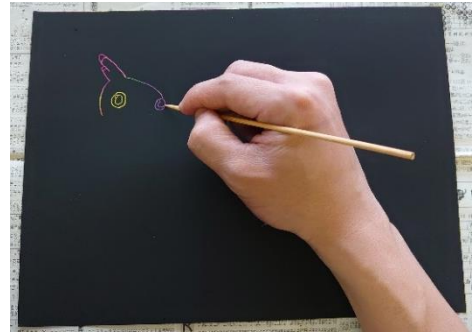
	項目	内容	備考
入所前 (手順)	事前準備	<input type="checkbox"/> ゆとりある研修計画を立てます。 午前の創作活動時間（9：00～12：00） 午後の創作活動時間（13：00～16：00） <input type="checkbox"/> 使用できる研修室は、第1研修室（90人）、第3研修室（36人）、第4研修室（60人）、第5研修室（60人）、創作室（36人） ※第4～5研修室を通して使用する場合は120人可能	
当日 (手順)	実施確認	<input type="checkbox"/> チェックイン時に「体験活動注文表」を提出します。	<input type="checkbox"/> 体験活動注文表
	活動前	<input type="checkbox"/> 研修室に集合します。 <input type="checkbox"/> 手元にある道具を確認します。	
	活動中	<input type="checkbox"/> 所員よりスクラッチアートの作り方や留意点の説明をします。 <input type="checkbox"/> 研修生の創作活動を開始します。	<input type="checkbox"/> 資料1
	活動後	<input type="checkbox"/> 使用した道具やゴミを片付けます。 <input type="checkbox"/> 研修室の掃除、整理整頓をして元の状態に戻します。	
想定される リスク	<input type="checkbox"/> 研修室内を走り回ることによるケガ（人と人との接触事故等） <input type="checkbox"/> 道具を振り回すことによるケガ		
安全指導	<input type="checkbox"/> 道具を丁寧かつ安全に使用してください。（振り回したり、投げたりしない等） <input type="checkbox"/> 地震や津波等で避難を要する場合は所員の指示に従ってください。		
その他	<input type="checkbox"/> 1団体に所員1人で研修を行います。		

資料1 スクラッチアートの作り方について

①白紙に好きな絵や文字を描きます。

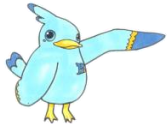


②下書きを見ながら、スクラッチボードに描きます。



③塗りつぶしや模様を加えて、完成です。





ちぎり絵うちわ

概要	限られた枠の中で色紙や和紙を使いながら色合いを考え、オリジナルのうちわを完成させる喜びを体験します。			
目的	ちぎり絵による細密な装飾を施したうちわ作りを体験することにより、集中力を高めるとともに、色彩感覚を養います。			
諸条件	【時期】	通年	【対象】	どなたでも
	【人数】	最大定員120人 ※人数が多い場合は応相談	【所要時間】	60～120分
	【費用】	300円（実施した場合のみ）	【会場】	鴨青
	【天候】	雨天可		
準備物	鴨青が貸し出す物 <input type="checkbox"/> スティックのり <input type="checkbox"/> 新聞紙 <input type="checkbox"/> ゴミ袋 <input type="checkbox"/> 筆記用具			

	項目	内容	備考
入所前 (手順)	事前準備	<input type="checkbox"/> ゆとりある研修計画を立てます。 午前の創作活動時間（9：00～12：00） 午後の創作活動時間（13：00～16：00） <input type="checkbox"/> 使用できる研修室は、第1研修室（90人）、第3研修室（36人）、第4研修室（60人）、第5研修室（60人）、創作室（36人） ※第4～5研修室を通して使用する場合は120人可能	
当日 (手順)	実施確認	<input type="checkbox"/> チェックイン時に「体験活動注文表」を提出します。	<input type="checkbox"/> 体験活動注文表
	活動前	<input type="checkbox"/> 研修室に集合します。 <input type="checkbox"/> 手元にある道具を確認します。	
	活動中	<input type="checkbox"/> 所員よりちぎり絵うちわの作り方や留意点の説明をします。 <input type="checkbox"/> 研修生の創作活動を開始します。	<input type="checkbox"/> 資料1
	活動後	<input type="checkbox"/> 使用した道具やゴミを片付けます。 <input type="checkbox"/> 研修室の掃除、整理整頓をして元の状態に戻します。	
想定される リスク	<input type="checkbox"/> 研修室内を走り回ることによるケガ（人と人との接触事故等） <input type="checkbox"/> 道具を振り回すことによるケガ		
安全指導	<input type="checkbox"/> 道具を丁寧かつ安全に使用してください。（振り回したり、投げたりしない等） <input type="checkbox"/> 地震や津波等で避難を要する場合は、所員の指示に従ってください。		
その他	<input type="checkbox"/> 1団体に所員1人で研修を行います。		

資料1 ちぎり絵うちわの作り方について

①うちわに鉛筆で好きな絵を描きます。

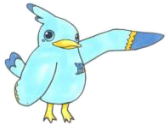


②色紙や和紙を手で細かくちぎり、のりづけをします。



③ちぎった色紙や和紙を絵に沿って貼ったら完成です。





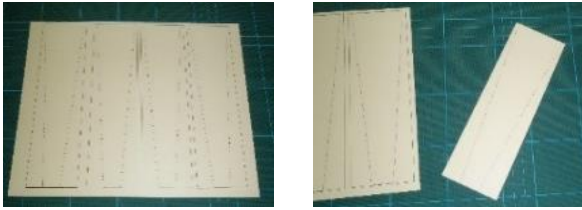
手作り扇子

概要	古来より継承されてきた扇子の歴史や仕組みについて学び、好みの図柄を用い丹念に組み立てることによって、自分だけの扇子を完成させる喜びを体験します。 ※作品は観賞用の扇子です。			
目的	カッターナイフを使い、順番に注意しながら、一つずつ丁寧に仕上げていくことで集中力を養います。			
諸条件	【時期】	通年	【対象】	どなたでも
	【人数】	最大定員120人 ※人数が多い場合は応相談	【所要時間】	60～120分
	【費用】	200円（実施した場合のみ）	【会場】	鴨青
	【天候】	雨天可		
準備物	鴨青が貸し出す物 <input type="checkbox"/> 穴あけドリル <input type="checkbox"/> カッターナイフ <input type="checkbox"/> カッターマット <input type="checkbox"/> スティックのり <input type="checkbox"/> ゴミ袋 <input type="checkbox"/> 定規 <input type="checkbox"/> 筆記用具			

	項目	内容	備考
入所前 (手順)	事前準備	<input type="checkbox"/> ゆとりある研修計画を立てます。 午前の創作活動時間（9：00～12：00） 午後の創作活動時間（13：00～16：00） <input type="checkbox"/> 使用できる研修室は、第1研修室（90人）、第3研修室（36人）、第4研修室（60人）、第5研修室（60人）、創作室（36人） ※第4～5研修室を通して使用する場合は120人可能	
当日 (手順)	実施確認	<input type="checkbox"/> チェックイン時に「体験活動注文表」を提出します。	<input type="checkbox"/> 体験活動注文表
	活動前	<input type="checkbox"/> 研修室に集合します。 <input type="checkbox"/> 手元にある道具を確認します。	
	活動中	<input type="checkbox"/> 所員より手作り扇子の作り方や留意点の説明をします。 <input type="checkbox"/> 研修生の創作活動を開始します。	<input type="checkbox"/> 資料1
	活動後	<input type="checkbox"/> 使用した道具やゴミを片付けます。 <input type="checkbox"/> 研修室の掃除、整理整頓をして元の状態に戻します。	
想定される リスク	<input type="checkbox"/> 研修室内を走り回ることによるケガ（人と人との接触事故等） <input type="checkbox"/> 道具を振り回すことによるケガ <input type="checkbox"/> カッターナイフを使用することによるケガ（切り傷等）		
安全指導	<input type="checkbox"/> 道具を丁寧かつ安全に使用してください。（振り回したり、投げたりしない等） <input type="checkbox"/> 地震や津波等で避難を要する場合は、所員の指示に従ってください。		
その他	<input type="checkbox"/> 1団体に所員1人で研修を行います。		

資料1 手作り扇子の作り方について

- ①実線に合わせてカッターナイフで切り取ります。
(全部で9枚)



- ②点線に定規をあてて、右側を谷折り、左側を山折りにします。折った後は定規を使って伸ばすときれいに折り目がつきます。



- ③絵紙を実線に沿ってカッターナイフで切り取ります。



- ④切り取った絵紙を型紙の山折りした部分に沿って貼り付け、絵の順番を間違えないように、折った部分をすべて重ねていきます。

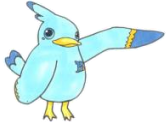


- ⑤型紙の向きをそろえて、下方の折り重なっている部分に穴あけドリルで穴をあけます。
※状況に応じて所員または引率者が穴あけドリルで穴を開けます。



- ⑥カールファスナーを取り付ければ完成です。
⑦最後に台座を作成して、扇子を置きます。
※観賞用として楽しんでください。





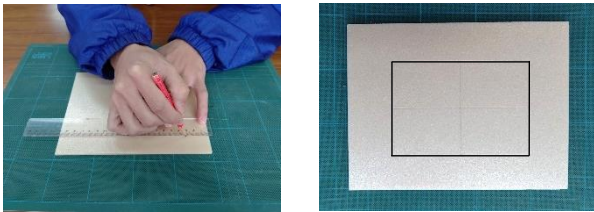
フォトフレーム

概要	工作ボードを、好みの形に切り整えたり彩色用具で飾りつけをするなどして、オリジナルのフォトフレームを完成させる喜びを体験します。			
目的	飾る写真に合わせて、形状、色彩をイメージしながら作成することにより色彩感覚や造形力を養います。			
諸条件	【時期】	通年	【対象】	どなたでも
	【人数】	最大定員120人 ※人数が多い場合は応相談	【所要時間】	60～120分
	【費用】	300円（実施した場合のみ）	【会場】	鴨青
	【天候】	雨天可		
準備物	鴨青が貸し出す物 <input type="checkbox"/> 木工用ボンド <input type="checkbox"/> カッターナイフ <input type="checkbox"/> カッターマット <input type="checkbox"/> 型紙 <input type="checkbox"/> セロハンテープ <input type="checkbox"/> 新聞紙 <input type="checkbox"/> ゴミ袋 <input type="checkbox"/> 定規 <input type="checkbox"/> 筆記用具			

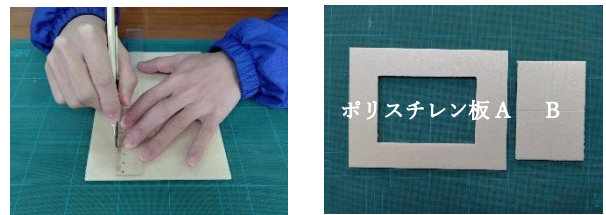
	項目	内容	備考
入所前 (手順)	事前準備	<input type="checkbox"/> ゆとりある研修計画を立てます。 午前の創作活動時間（9：00～12：00） 午後の創作活動時間（13：00～16：00） <input type="checkbox"/> 使用できる研修室は、第1研修室（90人）、第3研修室（36人）、第4研修室（60人）、第5研修室（60人）、創作室（36人） ※第4～5研修室を通して使用する場合は120人可能	
当日 (手順)	実施確認	<input type="checkbox"/> チェックイン時に「体験活動注文表」を提出します。	<input type="checkbox"/> 体験活動注文表
	活動前	<input type="checkbox"/> 研修室に集合します。 <input type="checkbox"/> 手元にある道具を確認します。	
	活動中	<input type="checkbox"/> 所員よりフォトフレームの作り方や留意点の説明をします。 <input type="checkbox"/> 研修生の創作活動を開始します。	<input type="checkbox"/> 資料1
	活動後	<input type="checkbox"/> 使用した道具やゴミを片付けます。 <input type="checkbox"/> 研修室の掃除、整理整頓をして元の状態に戻します。	
想定される リスク	<input type="checkbox"/> 研修室内を走り回ることによるケガ（人と人との接触事故等） <input type="checkbox"/> 道具を振り回すことによるケガ <input type="checkbox"/> カッターナイフを使用することによるケガ（切り傷等）		
安全指導	<input type="checkbox"/> 道具を丁寧かつ安全に使用してください。（振り回したり、投げたりしない等） <input type="checkbox"/> 地震や津波等で避難を要する場合は、所員の指示に従ってください。		
その他	<input type="checkbox"/> 1団体に所員1人で研修を行います。		

資料1 フォトフレームの作り方について

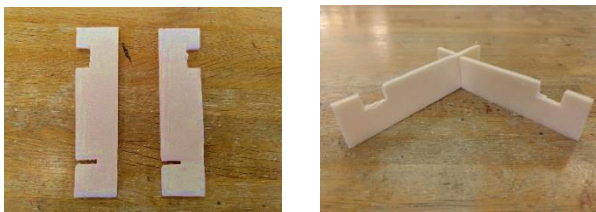
①ポリスチレン板 A の縦、横の端から定規で縦84mm×横122mm測り、鉛筆で縁取りの線を書きます。



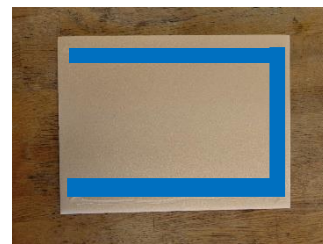
②①をカッターナイフで切り、ポリスチレン板 A と B に分けます。



③②のポリスチレン板 B を型紙に合わせて、カッターナイフで切り（左写真）、スタンド（右写真）を作ります。



④ポリスチレン板 C に L 字またはコの字に木工用ボンドを塗り、ポリスチレン板 A と貼り付けます。

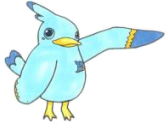


⑤④に装飾（カラーサンド、モール、ビーズ、花等）をつけたら完成です。



⑥持ち帰る時はフレームとスタンドを分けて、ポリ袋に入れて、持ち帰りましょう。





勾玉

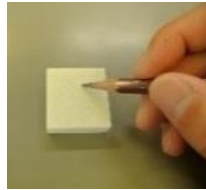
概要	太古から伝承される勾玉の創作活動を通じて、勾玉のいわれを理解するとともに、仲間との繋がりの大切さを体験します。			
目的	削る、穴あけ、紐結び等、勾玉作成体験によって、工具の安全な使用方法を学ぶとともに、作品完成までの創造力を養います。			
諸条件	【時期】	通年	【対象】	どなたでも
	【人数】	最大定員120人 ※人数が多い場合は応相談	【所要時間】	60～120分
	【費用】	300円（実施した場合のみ）	【会場】	鴨青
	【天候】	雨天可		
準備物	鴨青が貸し出す物 <input type="checkbox"/> キリ <input type="checkbox"/> カッターマット <input type="checkbox"/> トレイ <input type="checkbox"/> ジャグ <input type="checkbox"/> バケツ <input type="checkbox"/> 新聞紙 <input type="checkbox"/> ゴミ袋 <input type="checkbox"/> 定規 <input type="checkbox"/> 筆記用具			

	項目	内容	備考
入所前 (手順)	事前準備	<input type="checkbox"/> ゆとりある研修計画を立てます。 午前の創作活動時間（9：00～12：00） 午後の創作活動時間（13：00～16：00） <input type="checkbox"/> 使用できる研修室は、第1研修室（90人）、第3研修室（36人）、第4研修室（60人）、第5研修室（60人）、創作室（36人） ※第4～5研修室を通して使用する場合は120人可能	
当日 (手順)	実施確認	<input type="checkbox"/> チェックイン時に「体験活動注文表」を提出します。	<input type="checkbox"/> 体験活動注文表
	活動前	<input type="checkbox"/> 研修室に集合します。 <input type="checkbox"/> 手元にある道具を確認します。	
	活動中	<input type="checkbox"/> 所員より勾玉の作り方や留意点の説明をします。 <input type="checkbox"/> 研修生の創作活動を開始します。	<input type="checkbox"/> 資料1
	活動後	<input type="checkbox"/> 使用した道具やゴミを片付けます。 <input type="checkbox"/> 研修室の掃除、整理整頓をして元の状態に戻します。	
想定される リスク	<input type="checkbox"/> 研修室内を走り回ることによるケガ（人と人との接触事故等） <input type="checkbox"/> 道具を振り回すことによるケガ <input type="checkbox"/> キリを使用することによるケガ（切り傷等）		
安全指導	<input type="checkbox"/> 道具を丁寧かつ安全に使用してください。（振り回したり、投げたりしない等） <input type="checkbox"/> 地震や津波等で避難を要する場合は、所員の指示に従ってください。		
その他	<input type="checkbox"/> 1団体に所員1人で研修を行います。		

資料1 勾玉の作り方について

①鉛筆で好みの形を描きます。

※細すぎたり、複雑な形は、割れてしまう可能性が高いので簡単な絵がおすすめです。



②紐を通すための穴の位置を決め、キリで穴をあけます。

※力を入れすぎないように気を付けてください。



③3種類のペーパーで削り、形を整えます。

1.荒いサンドペーパー (茶色)



2.細かいサンドペーパー (薄茶色)

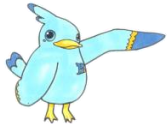


3.耐水ペーパー (ねずみ色+水)



④紐を通したら完成です。





焼き板

概要	ガスバーナーや彩色用具を使って、オリジナルな焼き板作りを体験します。			
目的	自由な発想のもと、板を焼いたり、装飾したりすることによって表現力や色彩感覚を養います。			
諸条件	【時期】	通年	【対象】	どなたでも
	【人数】	最大定員120人 ※人数が多い場合は応相談	【所要時間】	60～120分
	【費用】	300円（実施した場合のみ）	【会場】	鴨青
	【天候】	雨天可（人数や風の強さによっては雨天でもできない場合があります）		
準備物	鴨青が貸し出す物 <input type="checkbox"/> セメダイン <input type="checkbox"/> ガスバーナー <input type="checkbox"/> ポスカ <input type="checkbox"/> 新聞紙 <input type="checkbox"/> ゴミ袋 <input type="checkbox"/> 軍手 <input type="checkbox"/> 雑巾			

	項目	内容	備考
入所前 (手順)	事前準備	<input type="checkbox"/> ゆとりある研修計画を立てます。 午前の創作活動時間（9：00～12：00） 午後の創作活動時間（13：00～16：00） <input type="checkbox"/> 使用できる研修室は、第1研修室（90人）、第3研修室（36人）、第4研修室（60人）、第5研修室（60人）、創作室（36人） ※第4～5研修室を通して使用する場合は120人可能 <input type="checkbox"/> ガスバーナーの使用方法について必ず確認してください。 ※15人程度に1人の引率者をつけます。 ※1グループ（5～6人程度）に1本配布します。	
当日 (手順)	実施確認	<input type="checkbox"/> チェックイン時に「体験活動注文表」を提出します。	<input type="checkbox"/> 体験活動注文表
	活動前	<input type="checkbox"/> 所員より引率者全員にガスバーナーの使用方法について説明します。（開始10分前） ※鴨青より引率者1人につき「資料1」1枚を配布 <input type="checkbox"/> 研修室に集合します。 <input type="checkbox"/> 手元にある道具を確認します。	
	活動中	<input type="checkbox"/> 所員より焼き板の作り方や留意点の説明をします。 <input type="checkbox"/> 研修生の創作活動を開始します。	<input type="checkbox"/> 資料2
	活動後	<input type="checkbox"/> 使用した道具やゴミを片付けます。 <input type="checkbox"/> 研修室の掃除、整理整頓をして元の状態に戻します。	
想定される リスク	<input type="checkbox"/> 研修室内を走り回ることによるケガ（人と人との接触事故等） <input type="checkbox"/> 道具を振り回すことによるケガ <input type="checkbox"/> ガスバーナーを使用することによるケガ（火傷等）		
安全指導	<input type="checkbox"/> 道具を丁寧かつ安全に使用してください。（振り回したり、投げたりしない等） <input type="checkbox"/> ガスバーナーを使用する際は十分に注意してください。（軍手着用、渡し方等） <input type="checkbox"/> 地震や津波等で避難を要する場合は、所員の指示に従ってください。		

その他

- 1 団体に所員 1 人で研修を行います。
- 装飾については、ウォークラリーや磯遊び等で取ってきた貝殻や植物を使用することもできます。

資料1 ガスバーナーの使用方法について

1. 火の点け方・消し方



(1) バルブを開く



(2) 着火ボタンを押す



(3) バルブを閉める

2. 使用上の留意点

- (1) グループの引率者が目の届く範囲でガスバーナーを使用させてください。
- (2) ガスバーナーを使用する際は必ず軍手を着用させてください。
- (3) 周りに他の研修生がいないか（特に火を出す方向）を必ず確認させてください。
- (4) ガスバーナーを使用している研修生の周りを走ったり、ふざけたりするのは危険なので注意してください。
- (5) バルブを回しすぎると火の勢いが強く、火傷をする恐れがあるので注意してください。
- (6) 火が出るノズル部分は熱くなっているので、絶対に触らないように注意してください。
(写真①参照)
- (7) ガスバーナーを次の人に渡す時は手渡しではなく、地面に倒した状態で渡すように注意してください。
(写真②参照)

【写真①】



【写真②】



資料2 焼き板の作り方について

① (20 cm×10 cm×1 cm) の杉板を用意します。



② ガスバーナーで全面を2～3回焼きます。

※ 焼く回数によって、仕上がりの色が変わります。



③ たわしで焦げた部分をこすった後、雑巾で磨いていきます。

※ こすり方、磨き方で色の艶が変わります。



左7分
右5分

④ 金具フックをつけます。

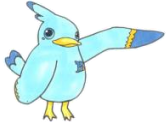


⑤ ポスカでデザインを描きます。



⑥ 装飾 (モール、花、貝等) をつけたら完成です。



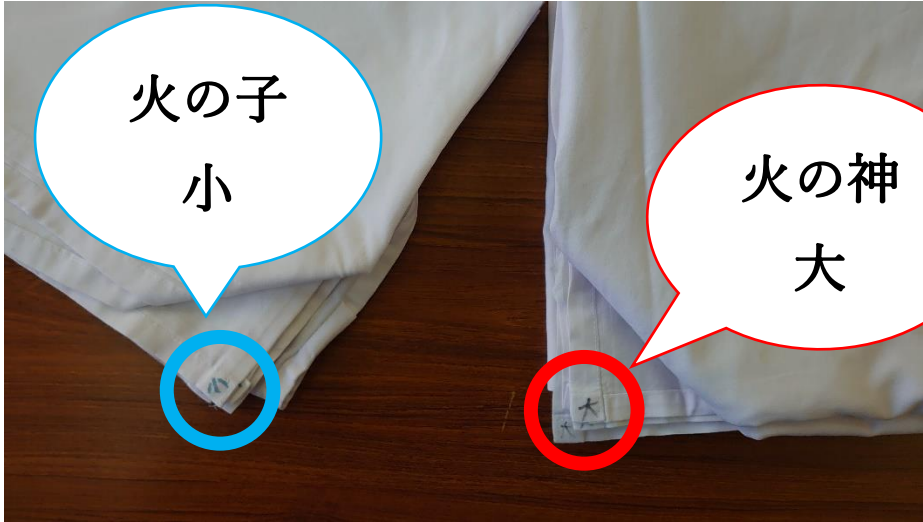


キャンプファイア

概要	仲間とともに、歌・踊り・スタンプなどに取り組み、協力や友愛の精神を高めます。			
目的	火を囲みながら、自分を見つめ直すとともに、仲間との親睦を深めることを目的とします。			
諸条件	【時期】	4～10月	【対象】	どなたでも
	【人数】	制限なし	【所要時間】	90～120分
	【費用】	一式4,370円	【会場】	キャンプファイア場（2カ所）
	【天候】	晴天のみ		
準備物	団体に準備する物			
	<input type="checkbox"/> ライター（マッチ） <input type="checkbox"/> 必要に応じて音楽（CD） <input type="checkbox"/> 丸太組み用軍手			
	鴨青が貸し出す物			
	<input type="checkbox"/> 衣装（追加衣装の貸出は無料） <input type="checkbox"/> 丸太 <input type="checkbox"/> 灯油 <input type="checkbox"/> 消火用具			
	<input type="checkbox"/> トーチ1本（追加貸出1本300円） <input type="checkbox"/> CDデッキ付アンプ <input type="checkbox"/> コードリール			

	項目	内容	備考
入所前 (手順)	事前準備	<input type="checkbox"/> 衣装係（火の神役）や丸太組み係等の役割分担を決めます。	
当日 (手順)	実施確認	<input type="checkbox"/> チェックイン時に「体験活動注文表」を提出します。	<input type="checkbox"/> 体験活動注文表
	活動前	<input type="checkbox"/> 16:30に受付前へ活動責任者・担当研修生は集合します。 <input type="checkbox"/> 鴨青所員から道具を受け取り、説明を受けます。（丸太組み係は軍手持参）	<input type="checkbox"/> 資料1 <input type="checkbox"/> 資料2
	活動中	<input type="checkbox"/> 儀式（静）→ゲーム（動）→儀式（静） ※儀式・ゲームの内容は団体にて計画	<input type="checkbox"/> 資料3
	活動後	<input type="checkbox"/> 火の始末をします。（完全消火） <input type="checkbox"/> 貸し出し備品を事務室に返却します。 <input type="checkbox"/> 翌朝、灰の始末・消火用具の返却をします。	
想定される リスク	<input type="checkbox"/> 火による事故（火傷） <input type="checkbox"/> 木のささくれによる事故（切り傷等）		
安全指導	<input type="checkbox"/> 火傷防止のため、火の管理（着火・消火・灯油の使用）は活動責任者が行ってください。 <input type="checkbox"/> 地震や津波等で避難を要する場合は所員の指示に従ってください。		
実施判断	<input type="checkbox"/> 実施判断は、活動責任者が行ってください。 （雨天時、キャンドルサービスに変更できます。お気軽にご相談ください。）		
その他	<input type="checkbox"/> 活动时、外灯を消したい場合は、所員にお気軽にお声掛けください。		

①



②



③



資料2 丸太の組み方・火の管理について

1. 丸太の組み方・片づけ方

(1) 丸太・木っ端の準備

丸太（10本）、焚き付け用木っ端（25本程度）を用い、丸太を井桁にセットし、木っ端は中央及び四隅に立てかけてセットします。残った焚き付け用木っ端はキャンプファイア中に火力を調節するために使用します。

※丸太をセットする際、細い木っ端を外側に置いて丸太が外側に転がらないようにします。(図②)



(2) 着火

トーチに灯油を染みこませ着火したのち、火のついたトーチを焚き付け用木っ端の下部に配置します。(図③)

着火前に丸太に灯油を染みこませてから着火します。

※灯油の管理は必ず大人が行い、周りに子どもがいないことを確認したうえで灯油を使用します。なお、着火後に灯油をかけるのは危険ですので行わないでください。



(3) 火の管理・処理

必ず大人が行い、まだ丸太が燃え切っていない場合は周りに子どもがいないことを確認したうえで灯油をかけ、ドラム缶の蓋に収まるサイズまで丸太を燃やしてください。(図④)

※灯油をかける際は火元との間隔をあげ、ひしゃくを使用し細心の注意を払って行ってください。

丸太がドラム缶に収まるサイズになったら蓋で覆い、ドラム缶と地面の隙間を砂（車庫脇に用意）で密閉します。(図⑤)



(4) 片付け（翌朝）

翌朝（6：30～8：00）灰をバケツに入れ、水で消火してから灰捨て用ゴミ袋に入れてゴミステーションに捨ててください。

水は、車庫横コンテナ裏に捨ててください。残った砂はバケツに入れ、元の場所へ返してください。

※営火場のレンガに直接水をかけると破損するため、絶対に行わないでください。



使用した消火用具を車庫の前に戻し、事務室へ終了の連絡をお願いします。

資料3 キャンプファイア展開例

第1部 迎火の集い

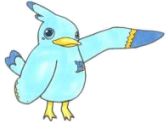
- ①集合 「中央を向いて、円を作って座ってください。」
- ②始まりの言葉 「ただいまより、キャンプファイアを始めます。」
- ③火の神・子入場 「火の神・火の子が入場します。」※曲
- ④火の神の言葉 「私は、この鴨川の地に住む火の神である。
今宵は皆のため、灯を授けに降りてきた。考えてほしい。人々は灯を自由に扱えること
によって、このように発展を遂げてきたのだ。はるか昔、人々が灯を手に入れるのにど
んなに苦労してきたのか考えたことがあるだろうか。灯の存在は、決して当たり前
のことではないのだ。私の授けるこの灯によって、『感謝の心』を思い起こしてほしい。そ
の心が豊かな心を育む。そして、その先には素晴らしい未来が待ち受けているだろう。
今宵が皆と、この地球の素晴らしい未来のための第一歩であることを願っている。」
- ⑤分火の儀式 「あなたに『健康の灯』を授ける」 「あなたに『自立の灯』を授ける」
「あなたに『感謝の灯』を授ける」 「あなたに『〇〇の灯』を授ける」
「私は健康に気を付け、毎日を元気に過ごします」等
- ⑥点火 「それでは、点火をお願いします。」点火後「皆さん、大きな拍手をお願いします。」
- ⑦歌 「燃え盛る炎を見つめながら、みんなで『燃えろよ燃えろ』を歌いましょう」

第2部 交流の集い

- ①出し物 「これから、各グループで考えたスタンプスを披露してもらいます。」
- ②踊り 「次に、全員でマイムマイムを踊ります。全員立ってください。」
- ③歌 「最後に全員で〇〇を歌います。全員で元気よく歌いましょう。」

第3部 送火の集い

- ①歌 「最初に、心を落ち着かせて『一日の終わり』を歌いましょう。」
- ②誓いの言葉 「次に、誓いの言葉を発表してもらいます。担当の人は前に出てください。」
- ③火の神の言葉 「皆、楽しめたでしょうか。今日、一人一人が様々な思いを持ったと思う。その思いを忘れ
ず、素晴らしい未来に向けて一步一步歩いてほしいと願っている。」
- ④採火 「それでは、採火を行います。」
- ⑤火の神・子退場 「火の神と火の子が退場します。」※曲
- ⑥終わりの言葉 「これで、キャンプファイアを終わります。」
- ⑦解散 「〇組から、順番に退場していきましょう。」

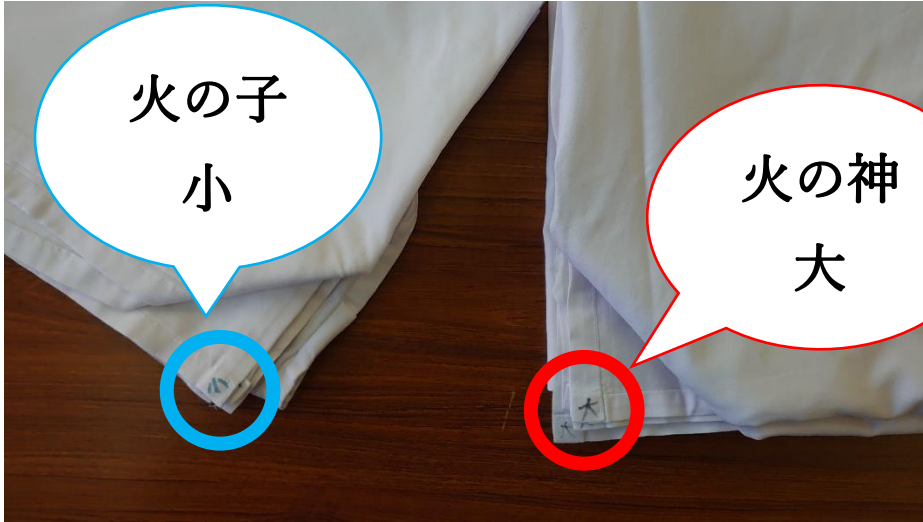


キャンドルサービス

概要	仲間とともに歌・踊り・スタンプなどに取り組み、協力や友愛の精神を高めます。			
目的	ろうそくの炎の独特の雰囲気の中で、自分を見つめ直すとともに、仲間との親睦を深めることを目的とします。			
諸条件	【時期】	通年	【対象】	どなたでも
	【人数】	制限なし	【所要時間】	90～120分（後片付け含む）
	【費用】	一式1,010円	【会場】	体育館、オリ室、第4・5研修室、トレーニングルーム
	【天候】	雨天可		
準備物	団体に準備する物 <input type="checkbox"/> ライター（マッチ） <input type="checkbox"/> 必要に応じて音楽（CD） <input type="checkbox"/> ロウソク（鴨青で購入可能：中18円、小5円） 鴨青が貸し出す物 <input type="checkbox"/> 燭台 <input type="checkbox"/> 衣装（追加衣装の貸出は無料） <input type="checkbox"/> CDデッキ付アンプ <input type="checkbox"/> 桶 <input type="checkbox"/> トーチ大（火の神用1本）・トーチ中（火の子用4本）・トーチ小（他研修生用） <input type="checkbox"/> ロウソク（燭台用11本・手燭用5本・他研修生用別途料金）			

	項目	内容	備考
入所前 (手順)	事前準備	<input type="checkbox"/> 衣装係（火の神役）等の役割分担を決めます。	
当日 (手順)	実施確認	<input type="checkbox"/> チェックイン時に「体験活動注文表」を提出します。	<input type="checkbox"/> 体験活動注文表
	活動前	<input type="checkbox"/> 16:30に受付前へ活動責任者・担当研修生は集合します。 <input type="checkbox"/> 所員から道具を受け取り、説明を受けます。	<input type="checkbox"/> 資料1
	活動中	<input type="checkbox"/> 儀式（静）→ゲーム（動）→儀式（静） ※儀式・ゲームの内容は団体にて計画	<input type="checkbox"/> 資料2
	活動後	<input type="checkbox"/> 火の始末をします。（ロウソクは桶に入れて事務室へ） <input type="checkbox"/> 貸し出し備品を事務室に返却してください。	
想定される リスク	<input type="checkbox"/> 火による事故（火傷） <input type="checkbox"/> 手燭による事故（切り傷等）		
安全指導	<input type="checkbox"/> 火傷防止のため、火の管理（着火・消火）は活動責任者が行ってください。 <input type="checkbox"/> 地震や津波等で避難を要する場合は所員の指示に従ってください。		
実施判断	<input type="checkbox"/> 実施判断は、活動責任者が行ってください。		

①



②



③



資料2 キャンドルサービス展開例

第1部 迎火の集い

- ①集合 「中央を向いて、円を作って座ってください。」
- ②始まりの言葉 「ただいまより、キャンドルサービスを始めます。」
- ③火の神・子入場 「火の神・火の子が入場します。」※曲
- ④火の神の言葉 「私は、この鴨川の地に住む火の神である。
今宵は皆のため、灯を授けに降りてきた。考えてほしい。人々は灯を自由に扱えること
によって、このように発展を遂げてきたのだ。はるか昔、人々が灯を手に入れるのにど
んなに苦労してきたのか考えたことがあるだろうか。灯の存在は、決して当たり前
のことではないのだ。私の授けるこの灯によって、『感謝の心』を思い起こしてほしい。そ
の心が豊かな心を育む。そして、その先には素晴らしい未来が待ち受けているだろう。
今宵が皆と、この地球の素晴らしい未来のための第一歩であることを願っている。」
- ⑤分火の儀式 「あなたに『健康の灯』を授ける」 「あなたに『自立の灯』を授ける」
「あなたに『感謝の灯』を授ける」 「あなたに『〇〇の灯』を授ける」
「私は健康に気を付け、毎日を元気に過ごします」等
- ⑥点火 「それでは、点火をお願いします。」点火後「皆さん、大きな拍手をお願いします。」
- ⑦歌 「燃え盛る炎を見つめながら、みんなで『燃えろよ燃えろ』を歌いましょう」

第2部 交流の集い

- ② 出し物 「これから、各グループで考えたスタンプを披露してもらいます。」
- ②踊り 「次に、全員で〇〇を踊ります。全員立ってください。」
- ③歌 「最後に全員で〇〇を歌います。全員で元気よく歌いましょう。」

第3部 送火の集い

- ①歌 「最初に、心を落ち着かせて『一日の終わり』を歌いましょう。」
- ②誓いの言葉 「次に、誓いの言葉を発表してもらいます。担当の人は前に出てください。」
- ③火の神の言葉 「皆、楽しめたでしょうか。今日、一人一人が様々な思いを持ったと思う。その思いを忘れ
ず、素晴らしい未来に向けて一步一步歩いてほしいと願っている。」
- ④採火 「それでは、採火を行います。」
- ⑤火の神・子退場 「火の神と火の子が退場します。」※曲
- ⑥終わりの言葉 「これで、キャンドルサービスを終わります。」
- ⑦解散 「〇組から、順番に退場していきましょう。」



ボンファイア（たき火の集い）

概要	少人数向きの集い、自由な内容で花火やナイトウォークと組み合わせることでより充実します。			
目的	火を囲みながら、仲間との親睦を深めることを目的とします。			
諸条件	【時期】	4～10月	【対象】	どなたでも
	【人数】	30人以下	【所要時間】	90分程度
	【費用】	薪1束600円～	【会場】	キャンプ用テントサイト等
	【天候】	晴天のみ		
準備物	団体に準備する物 <input type="checkbox"/> ライター（マッチ） <input type="checkbox"/> 必要に応じて音楽（CD） <input type="checkbox"/> 軍手			
	鴨青が貸し出す物 <input type="checkbox"/> 消火用具 <input type="checkbox"/> CDデッキ付アンプ <input type="checkbox"/> コードリール			

	項目	内容	備考
入所前 （手順）	事前準備	<input type="checkbox"/> 薪組み係等の役割分担を決めます。	
当日 （手順）	実施確認	<input type="checkbox"/> チェックイン時に「体験活動注文表」を提出します。	<input type="checkbox"/> 体験活動注文表
	活動前	<input type="checkbox"/> 16:30に受付前へ活動責任者・担当研修生は集合します。	<input type="checkbox"/> 資料1
		<input type="checkbox"/> 鴨青所員から道具を受け取り、説明を受けます。（薪組み係は軍手持参）	<input type="checkbox"/> 資料2
	活動中	<input type="checkbox"/> 儀式（静）→ゲーム（動）→儀式（静） ※儀式・ゲームの内容は団体にて計画（自由）	<input type="checkbox"/> 資料3
活動後	<input type="checkbox"/> 火の始末をします。（完全消火） <input type="checkbox"/> 貸し出し備品を事務室に返却します。 <input type="checkbox"/> 消火用具の返却をします。		
想定される リスク	<input type="checkbox"/> 火による事故（火傷） <input type="checkbox"/> 木のささくれによる事故（切り傷、棘）		
安全指導	<input type="checkbox"/> 火傷防止のため、火の管理（着火・消火）は活動責任者が行ってください。 <input type="checkbox"/> 地震や津波等で避難を要する場合は所員の指示に従ってください。		
実施判断	<input type="checkbox"/> 実施判断は、活動責任者が行ってください。 （雨天時、キャンドルサービスに変更できます。お気軽にご相談ください。）		
その他	<input type="checkbox"/> 活動時、外灯を消したい場合は、所員にお気軽にお声掛けください。		

①



野外炊事用の薪
を使用します！

竹で作った
手作りトーチ💧



②



消火用
角バケツ

③



消火用水💧
花火にも使えます！

資料2 薪の組み方・火の管理について

1. 薪の組み方・片づけ方

(1) 薪束（炊事用と同じもの）・木っ端の準備

薪（1束～）、焚き付け用木っ端を用い、専用台にセットし、
残った焚き付け用木っ端は活動中に火力を調節するために使用します。



(2) 着火

手作りのトーチ（儀式向き）やファイヤースターター（キャンプ向け）
などで着火します。

※引率者の指導と見守りが必要です。



(3) 火の管理・処理

必ず引率者が行き、活動終了後も薪が燃え切っていない場合は
燃え尽きるまでは見張りを立ててください。

灰は消火用の角バケツ（図②）に集めて水を入れ完全消火します。



(4) 片付け

消火用バケツ内の水切りをして、灰捨て用ゴミ袋に入れて
ゴミステーションに捨ててください。

貸し出し備品を元の場所に戻し、事務室へ終了の連絡をお願いします。



資料3 ポンファイア展開例

第1部 迎火の集い

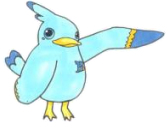
- ①集合 「中央を向いて、円を作って座ってください。」
- ②始まりの言葉 「ただいまより、ボンファイア（たき火の集い）を始めます。」
- ③火の神・子入場 「火の神・火の子が入場します。」※曲
- ④火の神の言葉 「私は、この鴨川の地に住む火の神である。
今宵は皆のため、灯を授けに降りてきた。考えてほしい。人々は灯を自由に扱えること
によって、このように発展を遂げてきたのだ。はるか昔、人々が灯を手に入れるのにど
んなに苦労してきたのか考えたことがあるだろうか。灯の存在は、決して当たり前
のことではないのだ。私の授けるこの灯によって、『感謝の心』を思い起こしてほしい。そ
の心が豊かな心を育む。そして、その先には素晴らしい未来が待ち受けているだろう。
今宵が皆と、この地球の素晴らしい未来のための第一歩であることを願っている。」
- ⑤分火の儀式 「あなたに『健康の灯』を授ける」 「あなたに『自立の灯』を授ける」
「あなたに『感謝の灯』を授ける」 「あなたに『〇〇の灯』を授ける」
「私は健康に気を付け、毎日を元気に過ごします」等
- ⑥点火 「それでは、点火をお願いします。」点火後「皆さん、大きな拍手をお願いします。」
- ⑦歌 「燃え盛る炎を見つめながら、みんな『燃えろよ燃えろ』を歌いましょう」

第2部 交流の集い

- ①出し物 「各班で考えたスタンプを披露しよう！」
- ②語らい 「一日を振り返ろう！そして、これから挑戦してみたい事を語り合おう」
「みんなで焼きマッシュマロを作って食べよう！」

第3部 送火の集い

- ①歌 「最初に、心を落ち着かせて『一日の終わり』を歌いましょう。」
- ②誓いの言葉 「次に、誓いの言葉を発表してもらいます。担当の人は前に出てください。」
- ③火の神の言葉 「皆、楽しめたでしょうか。今日、一人一人が様々な思いを持ったと思う。その思いを忘れ
ず、素晴らしい未来に向けて一步一步歩いてほしいと願っている。」
- ④採火 「それでは、採火を行います。」
- ⑤火の神・子退場 「火の神と火の子が退場します。」※曲
- ⑥終わりの言葉 「これで、ボンファイア（たき火の集い）を終わります。」
- ⑦解散 「〇班から、順番に退場していきましょう。」



ウォークラリー

概要	海と山を同時に満喫、鴨青オリジナルコース！コマ図をたよりに1周約70分のコースをグループ（4～6人）で歩きます。			
目的	地域の自然とふれあいながら、協調性や助け合いの精神を養います。			
諸条件	【時期】	通年	【対象】	どなたでも
	【人数】	制限なし	【所要時間】	70分
	【費用】	なし	【会場】	鴨青周辺
	【天候】	雨天時不可		
準備物	団体に準備する物			
	<input type="checkbox"/> コマ図（班数分） <input type="checkbox"/> 問題用紙（班数分） <input type="checkbox"/> 時計 鴨青が貸し出す物 <input type="checkbox"/> バインダー <input type="checkbox"/> 筆記用具 <input type="checkbox"/> ビブス No.1～20×2色 <input type="checkbox"/> 方位磁針 <input type="checkbox"/> 本部用机・イス <input type="checkbox"/> 横断旗（1～2本） <input type="checkbox"/> ハチ注意喚起用紙（1枚）			

	項目	内容	備考
入所前 (手順)	事前準備	<input type="checkbox"/> 活動責任者は、ウォークラリーの内容を確認します。 <input type="checkbox"/> 事前に班分け、役割を決めます。（1班4～6人） ※例：班長、時計係等 <input type="checkbox"/> 「コマ図」と「問題用紙」を班数分用意します。 <input type="checkbox"/> 活動責任者は、交通安全指導に配置できるように地図を確認しておきます。	<input type="checkbox"/> 資料1 <input type="checkbox"/> 資料2、資料3 <input type="checkbox"/> 資料6
	当日 (手順)	実施確認 <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> チェックイン時に「備品使用書」を提出します。 <input type="checkbox"/> 活動責任者は、実施判断を行い、事務室に連絡します。 <input type="checkbox"/> 所員より、貸し出し備品を受け取ります。 活動前 <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 集合前にトイレを済ませておきます。 <input type="checkbox"/> 班に分かれて、玄関前に集合します。 <input type="checkbox"/> 各班にゼッケン、バインダー、コンパスを配布します。 <input type="checkbox"/> 所員よりウォークラリーの説明をします。（約10分） 活動中 <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 班ごとに時間差で出発し、全員での行動を心がけます。 <input type="checkbox"/> 事故、怪我等が発生しないよう、安全に留意します。 <input type="checkbox"/> チェックポイントや問題を全員で解きながら行動します。 <input type="checkbox"/> 道がわからなくなったら、わかるコマ図の番号のところまで戻り、続きを行ってください。 <input type="checkbox"/> 緊急時は、近隣の民家へ声をかけ、電話を借りて鴨青に連絡をしてください。（☎04-7093-1666） <input type="checkbox"/> 設定した活動時間ちょうどになるように戻ります。 活動後 <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> ケガの有無や、健康状態を確認します。 	<input type="checkbox"/> 備品使用書

	<input type="checkbox"/> 活動責任者は、問題を回収し、答え合わせをします。 <input type="checkbox"/> 各班がゴールした時間を集計し、時間得点を出します。 <input type="checkbox"/> 貸し出し備品を事務室へ返却し、終了の報告をします。	<input type="checkbox"/> 資料4 <input type="checkbox"/> 資料5
想定される リスク	<input type="checkbox"/> 熱中症 <input type="checkbox"/> 交通状況による事故（坂道での転倒、車との接触事故等） <input type="checkbox"/> ケガ（捻挫、打撲、虫刺され等）	
安全指導	<input type="checkbox"/> 天候の変化による事故 <ul style="list-style-type: none"> ・熱中症対策のため、研修生には、帽子、水筒を持たせてください。 ・雨等により、路面が濡れていると滑る場所があります。 <input type="checkbox"/> 交通状況による事故 <ul style="list-style-type: none"> ・原則、右側を一列で歩いてください。 ・鴨青周辺の道路を使用します。歩道がない場所もあるので交通指導をお願いします。 ・道路は大型車両等も通りますので、十分に注意してください。 ・道に迷ったり、途中で体調不良者が出たりするなど、緊急を要する場合は鴨青に連絡してください。 	
実施判断	<input type="checkbox"/> 実施判断は、活動責任者が行ってください。 （台風等で鴨青から中止をお願いする場合があります。）	
その他	<input type="checkbox"/> 公衆道徳を守ってください。 <ul style="list-style-type: none"> ・民家に無断で入ったり、ゴミを落としたりしないでください。 	

資料1 楽しいウォークラリーのために

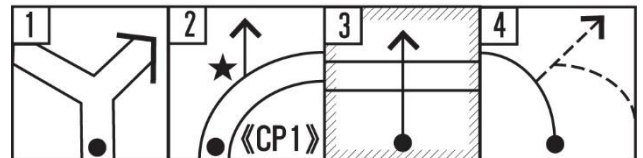
ウォーク・ラリー (Walk Rally) とは

① コマ図にしたがって	★指定されたコース（道路）の交差点や分岐点の図を、独立した形で書いたものです。
② 課題を解決しながら	★CP（チェックポイント）や観察ゾーンで、みんなで協力しましょう。
③ グループで歩き	★グループ内（4～6名）でお互いに声をかけあってコミュニケーションをはかります。チーム全員でスタート、ゴールしましょう。
④ 時間得点（50点）と課題得点（50点）の合計点で競う	★ウォーク・ラリーは早さを競うものではありません。規定時間ぴったりにゴールなら50点です。（早すぎても、遅すぎても減点です。） ※規定時間は活動責任者で決めてください。（約70分前後）
⑤ 野外ゲーム	★景色を楽しみながら、ゆとりをもって歩きましょう。

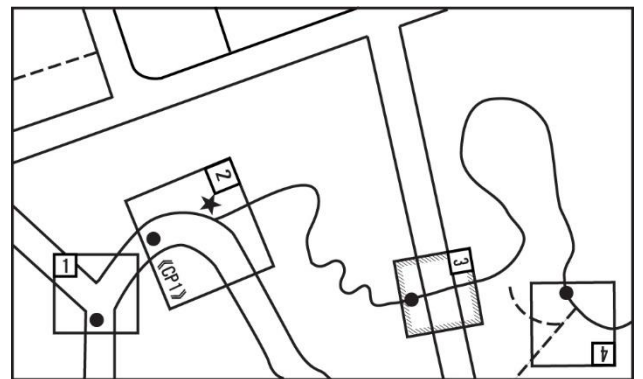
コマ図の読み方

- ① コマ図は、交差点や分岐点から、5m ぐらいの所の道路（特別な所は除く）を平面的にスケッチしたものです。
- ② コマ図において方位（東西南北）は関係ありません。
- ③ ●印は、自分の位置を示します。
- ④ →印は、進んで行く方向を示します。
- ⑤ CP印や、観察ゾーン（斜線で囲まれたコマ図）は参加者が「間違いなくこの地点まで来た」と自分たちで確認できる地点です。確認する為に課題（問題）があります。
★印は、ヒントの場所です。
- ⑥ 道路の記号は3種類に分けて書かれています。
 - A. — — — 1.5m未満の道はば。
 - B. ————— 1.5m以上2.5m未満の道はば。
 - C. □ 2.5m以上の道はば。
- ⑦ コマ図とコマ図の間は1本道ですが距離は一定していません。

<コマ図>

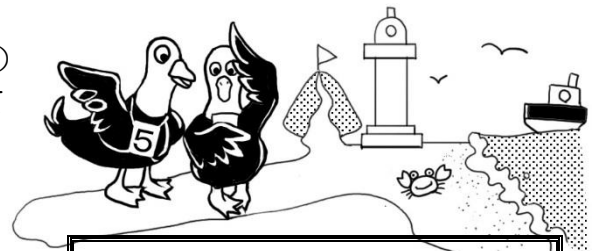


<道路地図>



ウォークラリー 安全7カ条

- 第1条 ゆったりと楽しみながら歩こう。
- 第2条 交通ルールをしっかりと守ろう。（敷地内走行車両にも注意）
（社会的ルール〔私有地に入らない、知らない人について行かない〕、マナー〔礼儀・挨拶など〕も忘れずに）
- 第3条 迷ったら、わかるコース図まで引き返そう。
- 第4条 メンバーは声をかけ合おう。
- 第5条 体力的に一番弱い人に合わせて歩こう。
- 第6条 怪我、事故にあわないようにしよう。（車・崖・海など）
- 第7条 危険な生物、植物にも注意しよう。（へび・ハチ・毒草など）



緊急連絡先

千葉県立鴨川青少年自然の家
04-7093-1666

ウォーク・ラリー 1コース

●自分の位置 ← 進んでいく方向 CPチェックポイント // 観察ゾーン ★ヒント ----- 1.5m未満の道 ——— 1.5m以上2.5m未満の道
 = 2.5m以上の道 橋 トンネル ~~~ 海 階段 看板 カーブミラー バス停
 鳥居 石碑 田んぼ 植木など WCTイレ 信号機 線路 踏切

緊急連絡先 ◆鴨川青少年自然の家 04-7093-1666
 ◆団体代表者 ()

1 鴨川青少年自然の家 (スタート玄関前)

2 鴨川青少年自然の家 (体育館, 生活棟)

3 鴨川松島 (トンネル)

4 鴨川松島 (山口工務店)

5 一戦場公園

6 一戦場公園 (インディアンサマー)

7 一戦場公園 (展望台)

8 一戦場公園 (展望台)

9 一戦場公園 (展望台) (CP2)

10 一戦場公園

11 一戦場公園 (展望台)

12 一戦場公園 (WC)

13 一戦場公園 (観察ゾーン) (CP3)

14 浅間神社

15 浅間神社

16 八雲神社

17 八雲神社

18 妙晶寺 (大浦)

19 やまなか

20 石見堂下

21 八岡 (鴨川松島)

22 鴨川松島 (黒潮)

23 鴨川松島 (体育館, WC)

24 鴨川松島 (キャンプファイア場, 駐車禁止)

25 鴨川青少年自然の家 (ゴール玄関前)

ウォーク・ラリー 2コース

●自分の位置 ←進んでいく方向 CPチェックポイント // 観察ゾーン ★ヒント -----1.5m未満の道 ———1.5m以上2.5m未満の道
 ———2.5m以上の道 橋 トンネル 海 階段 看板 カーブミラー バス停
 鳥居 石碑 田んぼ 植木など WCTイレ 信号機 線路 踏切

緊急連絡先 ◆鴨川青少年自然の家 04-7093-1666
 ◆団体代表者 ()

1 キャンプファイア場 スタート玄関前 鴨川青少年自然の家

2 キャンプファイア場 駐車禁止

3 カカドマ WC 体育館 生活棟

4 黒潮 鴨川松島 トンネル 《CP1》

5 鴨川くらぶ 山口工務店

6 石見堂下

7 やまなか

8 妙晶寺 大浦

9 《CP2》

10 八雲神社

11

12 浅間神社

13 《CP3》

14 WC

15 展望台

16

17 《CP4》 一戦場公園 展望台 センターハウス

18 ら・みらどーる 展望台

19 ら・みらどーる 展望台

20 インディアンサマー

21 一戦場公園

22 鴨川くらぶ 山口工務店

23 鴨川松島 黒潮 荘

24 棟 体育館 WC カマド

25 キャンプファイア場 鴨川青少年自然の家 ゴール玄関前

ウォークラリー

1 コース

問題

だんたいめい 団体名						
だい 第	はん 班	めい チーム名				
じかん ゴール時間	じ 時	ふん 分	びよう 秒	そうごうとくてん 総合得点	てん 点	
じかん スタート時間	じ 時	ふん 分	びよう 秒			
しょうじかん 所要時間	じかん 時間	ふん 分	びよう 秒	じかんとくてん 時間得点	てん 点	
じかんさ 時間差	じかん 時間	ふん 分	びよう 秒	かだいとくてん 課題得点	てん 点	
チェックポイント C P	もん だい 問 題		こた 答 え		はいてん 配点	とくてん 得点
CP1	みぎ ひょうじ でんちゆう み 右の表示のある電柱を見つけて、() すうじ か い に数字を書き入れましょう。		<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> 八岡 2 () 8 </div>		てん 10点	
CP2	みなみぼうそうこくていこうえん かんばん 南房総国定公園の看板には、 ”○○○○○△△を守ろう” という まも キャッチフレーズが書かれています。 か				てん 10点	
CP3	てんぼうだい ゆか う こ ちくこう 展望台の床に埋め込まれている蓄光タイル しろ (白いタイル)には、四角のタイルと○○○ しかく 型のタイルが埋め込まれています。 がた う こ				てん 10点	
CP4	うおみづか いっせんばゆうほどう べつめい 魚見塚・一戦場遊歩道の別名は みち ○○○○の道といえます。				てん 10点	
かん さつ 観 察 ゾーン	てんぼうだい ちょうじょう み けしき かもせい み 展望台の頂上から見える景色から鴨青を見 ほうかく しろ こた つけて方角を調べよう。(答えの1つに○)		ヒガシ ニシ ミナミ キタ 東 西 南 北		てん 10点	

ウォークラリー

2 コース

問題

だんたいめい 団体名						
だい 第	はん 班	めい チーム名				
じかん ゴール時間	じ 時	ふん 分	びよう 秒	そうごうとくてん 総合得点	てん 点	
じかん スタート時間	じ 時	ふん 分	びよう 秒			
じょうじかん 所要時間	じかん 時間	ふん 分	びよう 秒	じかんとくてん 時間得点	てん 点	
じかんさ 時間差	じかん 時間	ふん 分	びよう 秒	かだいとくてん 課題得点	てん 点	
チェックポイント C P	もん だい 問 題			こた 答 え	はいてん 配点	とくてん 得点
CP1	うおみづか いっせんばゆうほどう べつめい 魚見塚・一戦場遊歩道の別名は 〇〇〇〇の道といます。				てん 10点	
CP2	「おおうら かつ やたいじゆんこう かんばん なか 大浦の担ぎ屋台巡行」の着板の中で、 やたい おも さはやく 〇トンといわれ、〇〇人～ 〇〇人の担ぎ手が必要とされます。			約 _____ トン _____ 人～ _____ 人	てん 10点	
CP3	てんぼうだい ゆか う こ 展望台の床に埋め込まれている蓄光タイ ル(白いタイル)には、四角のタイルと〇〇 〇型のタイルが埋め込まれています。				てん 10点	
CP4	みなみぼうそうこくていこうえん かんばん 南房総国定公園の看板は、 ”〇〇〇〇〇△△を守ろう”というキャッチフ レーズが書かれています。				てん 10点	
かんさつ 観察 ゾーン	てんぼうだい ちょうじょう み けしき かもせい 展望台の頂上から見える景色から鴨青を み ほうがく しら 見つけて方角を調べよう。			ヒガシ ニシ ミナミ キタ 東 西 南 北	てん 10点	

ウォークラリー

1 コース

回答

チェックポイント C P	もん だい 問 題	こた 答 え	はいてん 配点	とくてん 得点
CP1	みぎ ひょうじ でんちゆう み 右の表示のある電柱を見つけて、() すうじ か い に数字を書き入れましょう。	八岡 2 (4) 8	てん 10点	
CP2	みなみぼうそうこくていこうえん かんぼん 南房総国定公園の看板には、 ”○○○○○△△を守ろう” という まも キャッチフレーズが書かれています。 か	ふるさとの自然	てん 10点	
CP3	てんぼうだい ゆか う こ ちくこう 展望台の床に埋め込まれている蓄光タイル しろ (白いタイル)には、四角のタイルと○○○ しかく がた 型のタイルが埋め込まれています。 う こ	ハート	てん 10点	
CP4	うお みづか いっせんばゆうほどう べつめい 魚見塚・一戦場遊歩道の別名は、 みち ○○○○の道といひます。	ふるさと	てん 10点	
かんさつ 観察ゾーン	てんぼうだい ちょうじょう み けしき かもせい 展望台の頂上から見える景色から鴨青 み ほうがく しろ を見つけて方角を調べよう。 こた (答えの1つに○)	ヒガシ ニシ ミナミ キタ 東 西 南 北	てん 10点	



ウォークラリー 2 コース 回答

チェックポイント C P	もん だい 問 題	こた 答 え	はいてん 配点	とくてん 得点
CP1	うおみづか いっせんばゆうほどう べつめい 魚見塚・一戦場遊歩道の別名は みち 〇〇〇〇の道といます。	ふるさと	てん 10点	
CP2	おおうら かつ やたいじゆんこう かんぼん なか 「大浦の担ぎ屋台巡行」の看板の中で、 やたい おも さはやく 屋台の重さは約〇トンといわれ、〇〇人～〇〇 人の担ぎ手が必要とされます。	約1トン 50人～60人	てん 10点	
CP3	てんぼうだい ゆか う こ まれたい ちくこう しろ 展望台の床に埋め込まれている蓄光タイル(白 いタイル)には、四角のタイルと〇〇〇型のタイ ルが埋め込まれています。	ハート	てん 10点	
CP4	みなみぼうそうこくていこうえん かんぼん 南房総国定公園の看板は、 まも ”〇〇〇〇〇△△を守ろう”というキャッチフレ ーズが書かれています。	ふるさとの自然	てん 10点	
かんさつ 観察ゾーン	てんぼうだい ちようじょう み けしき かもせい み 展望台の頂上から見える景色から鴨青を見つ ほうかく しら けて方角を調べよう。	ヒガシ ニシ ミナミ キタ 東 西 南 北	てん 10点	



ウォークラリー 得点集計表

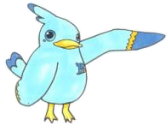
年 月 日()

千葉県立鴨川青少年自然の家

団体名					コース			分	
班	チーム名	ゴール 時 間	スタート 時 間	所要時間	時間差	時間 得点	課題 得点	総合 得点	順位
1		: '	: '	: '	: '				
2		: '	: '	: '	: '				
3		: '	: '	: '	: '				
4		: '	: '	: '	: '				
5		: '	: '	: '	: '				
6		: '	: '	: '	: '				
7		: '	: '	: '	: '				
8		: '	: '	: '	: '				
9		: '	: '	: '	: '				
10		: '	: '	: '	: '				
11		: '	: '	: '	: '				
12		: '	: '	: '	: '				
13		: '	: '	: '	: '				
14		: '	: '	: '	: '				
15		: '	: '	: '	: '				
16		: '	: '	: '	: '				
17		: '	: '	: '	: '				
18		: '	: '	: '	: '				
19		: '	: '	: '	: '				
20		: '	: '	: '	: '				

ウォークラリーコース全体図





鴨青アドベンチャー

概要	館内に隠された宝箱を見つけ、かけら（文字）を集めて、最後に宝物を見つけます。			
目的	文字を集めていく中で、グループのメンバーと協力することの大切さ、全員でやり遂げる達成感を養います。			
諸条件	【時期】	通年	【対象】	小学生以上
	【人数】	制限なし	【所要時間】	60～90分
	【費用】	なし	【会場】	鴨青館内
	【天候】	—		
準備物	団体に準備する物 <input type="checkbox"/> 「ぼうけんの書」（班数分） 鴨青が貸し出す物 <input type="checkbox"/> バインダー <input type="checkbox"/> 筆記用具 <input type="checkbox"/> 鴨青アドベンチャーマップ <input type="checkbox"/> モンスター用暗号（2枚）			

	項目	内容	備考
入所前 (手順)	事前準備	<input type="checkbox"/> 活動責任者は、鴨青アドベンチャーの内容を確認し、当日の説明ができるようにしておきます。 <input type="checkbox"/> 事前に班分け、班の中の役割を決めます。 ※例：班長、時計係等 <input type="checkbox"/> 「ぼうけんの書」を班数分用意します。 <input type="checkbox"/> モンスター役の指導員を2名決めておきます。 <input type="checkbox"/> モンスター役は、配置場所と出題課題を決めておきます。	<input type="checkbox"/> 資料1 <input type="checkbox"/> 資料3
	当日 (手順)	実施確認	<input type="checkbox"/> チェックイン時に「備品使用書」を提出します。 <input type="checkbox"/> 活動責任者は、実施判断を行い、事務室に連絡します。 <input type="checkbox"/> 所員より、貸し出し備品を受け取ります。
	活動前	<input type="checkbox"/> 集合前にトイレを済ませてください。 <input type="checkbox"/> スタート場所（研修室）に集合します。 <input type="checkbox"/> 鴨青アドベンチャーの説明（約10分）	
	活動中	<input type="checkbox"/> 各班は、時間差でスタートします。 <input type="checkbox"/> 班員は一緒に行動します。 <input type="checkbox"/> 活動中は、歩いて行動することを徹底してください。 <input type="checkbox"/> 研修室や宿泊室など部屋の中には、入りません。 <input type="checkbox"/> 設定した活動時間ちょうどになるようにスタート場所へ戻ります。 <input type="checkbox"/> 戻り次第、言葉を入れ替えて宝の文章をつくります。	<input type="checkbox"/> 資料2
	活動後	<input type="checkbox"/> ケガの有無や、健康状態を確認します。 <input type="checkbox"/> 活動責任者は、問題を回収し、答え合わせをします。 <input type="checkbox"/> 貸し出し備品を事務室へ返却し、終了の報告をします。	<input type="checkbox"/> 資料4
想定される リスク	<input type="checkbox"/> ケガ（捻挫、打撲等）		

安全指導	<input type="checkbox"/> 館内は、走らずに歩いて行動してください。 <input type="checkbox"/> 研修室や宿泊室、食堂などには入らないでください。 <input type="checkbox"/> 館内の備品を動かさないでください。
実施判断	<input type="checkbox"/> 実施判断は、活動責任者が行ってください。

資料1 鴨青アドベンチャー（指導者用）について

1. 目的

文字を集めていく中で、グループのメンバーとの協力することの大切さを実感し、全員でやり遂げることで達成感を得られます。

2. 進行の流れ

(1) あいさつ・ゲームの説明 ・文字が隠されている場所の暗号を解き、その文字を探していきます。集めた文字を入れ替えながらつなげていき、1つの文章（宝物）を完成させます。
(2) 班への備品配布 ・各班にゲームに必要な備品を配布します。 鴨青貸し出し備品・・・館内地図、ぼうけんの書、バインダー、モンスター用暗号（2枚） 団 体 用 意・・・筆記用具
(3) ルール説明 ・班のメンバー全員で行動します。（班がばらけているのを見つけた場合は減点となります。） ※グループで行動することの意味を考えさせ、協力性や協調性を養うことを伝えてください。 ・館内は走らず、歩きます。 ・制限時間を守ります。（遅れた場合は減点となります。） ・研修室、宿泊室などの部屋には入りません。（他団体に迷惑をかけないようにします。） ・モンスター（引率者）を見つけて文字をゲットしてください。
(4) 質問タイム・作戦タイム ・地図を見ながら各班で作戦を立てよう。
(5) ゲームスタート ・各班時間差をつけてスタートしよう。
(6) ゲーム終了・答え合わせ
(7) 振り返り ・団体行動ができたか、協力できたことはどんなことだったか等
(8) 終了報告・備品返却 ・団体代表者は、貸し出し備品を事務室へ返却し、終了の報告をしてください。

3. 活動上の留意点

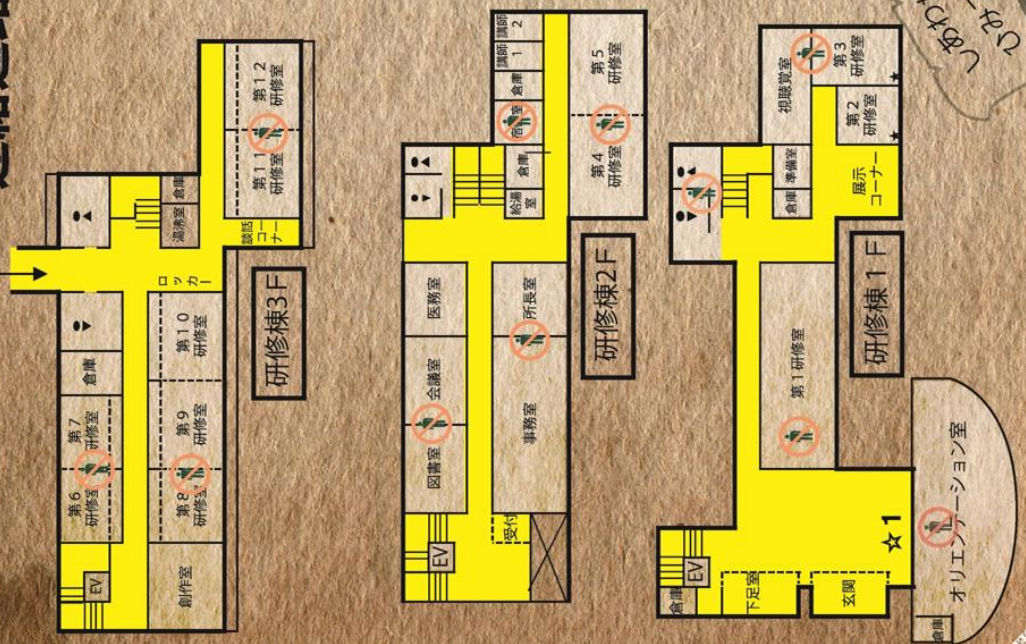
- ・地図は難易度によって選択できます。
初級（地図の各フロアの色と問題の色が対応しているもの。）
上級（地図の色と問題の色がすべて同じもの。）
- ・館内の備品を動かさないでください。（必ず見える位置にポイントを設置してあります。）

4. モンスター（引率者）のポイントゲーム（例）

○人間知恵の輪（年齢に応じて制限時間を設ける。） ①班全員で円になります。 ②隣以外の人と右手をつなぎます。 ③隣以外、右手をつないだ人以外と左手をつなぎます。 ④手を離さずに、元の円に戻ります。	○グループじゃんけん ①グループで出す手を決めます。 ②モンスターと班全員でじゃんけんします。 ③あいこ、負け、出した手がバラバラの場合は、もう一度、①からやり直します。
○ヒューマンチェア ①全員で輪になり「右向き」「左向き」で揃えます。 ②前に人の両肩を両手でつかみ、自分のつま先を前の人のかかとと5～8cmくらいにします。 ③掛け声で一斉に腰を下ろし、後ろの人の膝に座ります。 ④座れたら肩から手を離し、拍手をします。 ⑤もう一度前の人を肩を手でつかみ、合図で一斉に立ち上がります。	○フラフープ送り （年齢に応じて制限時間を設ける。） 道具：フラフープ ①全員で円になり手をつなぎます。 ②スタート位置を決め、フラフープを手に通します。 ③手を離さずにフラフープを隣の人に送りながら一周させます。 ④クリアできたらカードの文字をゲット

しんにゆうきんし
進入禁止エリア
 アドベンチャーのどちゅうで
 このエリアにたちいることは
 きんじられてい

れんらくつうろ
連絡通路



はらは
 すかせたか
 さあ、はいろう

じょうげに
 うごくそうち
 そのとなりの
 かいだんを みろ

じぶんだけの ものを
 そうぞうする
 ひみつの へや

さかなたちの
 てんらんかい
 うみの しんぴに
 きみは まづけるか

1にちの つかれを
 いやすまほう
 かたまで つかれば
 ごくらくごくらく

ここは そののせかいへ
 つながる とびら
 よこには あかと
 あおの ちず

80この くちが
 たからを まっている

このさきは
 えらばれしもの しか
 たちいることが
 できない

1ばん たかい
 まどからは
 そらと うみが
 まじる

けがを したものが
 おとずれる
 あんそくの ばしょ

★1
 モンスター からの
 ゲームにしようりしろ

★2
 モンスター からの
 ゲームにしようりしろ

このあおいとりをさがしたし
 じつこのあんごうをかいてくろ!



かべたい
鴨青アドベンチャーマップ

かもせい
鴨青アドベンチャー

しよ
ぼうけんの書

もじ かく てん 文字 (各5点)	もじ かく てん 文字 (各5点)

ぼうけんほう
ぼうけん方法

- 館内にあるポイントを探して、文字を書く。

ぼうけんルール

- 仲間全員で行動すること。
- 館内は走らない。
- 他の冒険者の迷惑にならないようにする。
- 部屋には入らない。
- ものを動かさない。

みつけた文字をならびかえて、おたからをかいどくしろ(クリアで40点)

お宝は、

<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------

ぼうけんの仲間 なかも	クラス	はん 班	ごうけい 合計	てん 点
----------------	-----	---------	------------	---------

資料4 ポイント設置場所・回答について

●地図をもとに文字を集め、一つの文章を作ります。文字10箇所、モンスター（引率者）は2箇所あります。モンスターはグループがゲームをクリアしたら文字を教えてください。

●ヒント（問題）と文字の場所（階）は同じ色枠で囲われています。（引率者だけに説明）

※ヒント（問題）と文字の場所（階）がすべて同じ色枠で囲われた地図も用意してあります。（難易度UP）

●出来上がる文章は【なかまとのたくさんのおもいで】

A…エレベーター付近

- ・上下に動く装置の隣の階段をみる「な」



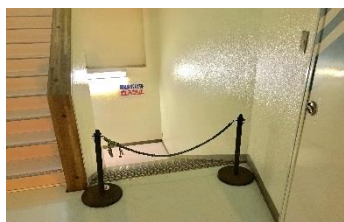
B…海洋理科センター水槽模型

- ・魚たちの展覧会。海の神秘に君は気がつけるか「か」



C…トイレ脇ボイラー室へ下る階段

- ・この先は選ばれし者しか立ち入ることはできない「ま」



☆1…モンスター①…玄関付近「た」 ☆2…モンスター②…リネン室付近「く」

※モンスター役には事前に文字を伝えておいてください。

D…受付前

- ・ここは外の世界へと繋がる扉。横には赤と青の地図。「さ」



E…医務室

- 怪我をした者が訪れる安息の場所。「ん」



F…創作室前

- 自分だけのものを創造する秘密の部屋。「の」



G…コインロッカー

- 80個の口が宝を待っている。「お」



H…食堂入り口付近

- 腹は空かせたか。さあ入ろう。「も」



I…浴場

- 一日の疲れを流す魔法。肩までつかればごくらごくら。「い」



J…生活棟 3F 談話コーナー

- 一番高い窓からは、海と空が混じる。「で」





ナイトハイキング（敷地内）

概要	昼間とは異なる夜の自然の姿を体感しながら、仲間との協力や友愛の精神を高めます。			
目的	昼間では味わうことのできない夜の自然の静寂さや星空、風の音などに触れることを通して、自然に親しむ心を育てます。			
諸条件	【時期】	通年	【対象】	小学生以上
	【人数】	制限なし	【所要時間】	30～40分
	【費用】	なし	【会場】	鴨青敷地内
	【天候】	晴天のみ		
準備物	団体で準備する物			
	<input type="checkbox"/> ナイトハイキング地図（班数分） <input type="checkbox"/> ナイトハイキング問題（班数分） <input type="checkbox"/> 筆記用具 <input type="checkbox"/> 懐中電灯 <input type="checkbox"/> 虫よけスプレー			
	鴨青が貸し出す物			
	<input type="checkbox"/> 誘導セット			

	項目	内容	備考
入所前 （手順）	事前準備	<input type="checkbox"/> 活動責任者は、ナイトハイキングの内容を確認します。 <input type="checkbox"/> 当日の説明ができるようにしてください。 <input type="checkbox"/> 事前に班分け、役割を決めます。（1班4～6人） <input type="checkbox"/> 「問題」と「地図」を班数分用意します。	<input type="checkbox"/> 資料1、資料2
	当日 （手順）	実施確認	<input type="checkbox"/> チェックイン時に「備品使用書」を提出します。 <input type="checkbox"/> 活動責任者は、実施判断を行い、事務室に連絡します。 <input type="checkbox"/> 所員より、貸し出し備品を受け取ります。
	活動前	<input type="checkbox"/> 集合前にトイレを済ませておきます。 <input type="checkbox"/> スタート場所に集合します。	
	活動中	<input type="checkbox"/> ナイトハイキングの説明をします。 ※夜の危険な場所等の説明をしっかりと聞いてください。 <input type="checkbox"/> 各班は、時間差でスタートします。 <input type="checkbox"/> 班員は一緒に行動します。 <input type="checkbox"/> 活動中は、歩いて行動することを徹底してください。 <input type="checkbox"/> 設定した活動時間になるようにスタート場所へ戻ります。	
	活動後	<input type="checkbox"/> ケガの有無や、健康状態を確認します。 <input type="checkbox"/> 活動責任者は、問題を回収し、答え合わせをします。 <input type="checkbox"/> 貸し出し備品を事務室へ返却し、終了の報告をします。	<input type="checkbox"/> 資料3
想定される リスク	<input type="checkbox"/> 交通状況による事故（砂利道での転倒等） <input type="checkbox"/> ケガ（捻挫、打撲、虫刺され等）		
安全指導	<input type="checkbox"/> 指導者は明るいうちに危険箇所の確認を行ってください。 <input type="checkbox"/> 懐中電灯などを使い、安全に歩けるように指導してください。 <input type="checkbox"/> 虫よけ対策等を準備し、十分に指導してください。		
実施判断	<input type="checkbox"/> 実施判断は、活動責任者が行ってください。		

鴨川青少年自然の家 ナイトハイク

もんだい
問題

- この石碑には鴨川青少年自然の家での研修目的が4つの言葉で書いてあります。「規律」「協同」あと2つは？
- 千葉県指定の天然記念物は？
- 鴨川青少年自然の家の正門入口は海拔何mでしょう。
- 点線内(A ●●●●▶ B)の範囲にあるソテツの数はいくつ？



- 国旗掲揚台の近くにある記号を探して答えに記入しましょう。
- ゴミステーションの分別の種類は「燃えるゴミ(生ゴミ)・ビン・ガラス・カン・蛍光灯」そのほかの3種類は？
- 第1、第2野外炊事場にあるかまどは全部でいくつありますか？
- 体育館前の利用団体代表者駐車場は何台の車が止められますか？

答え

答え	
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	

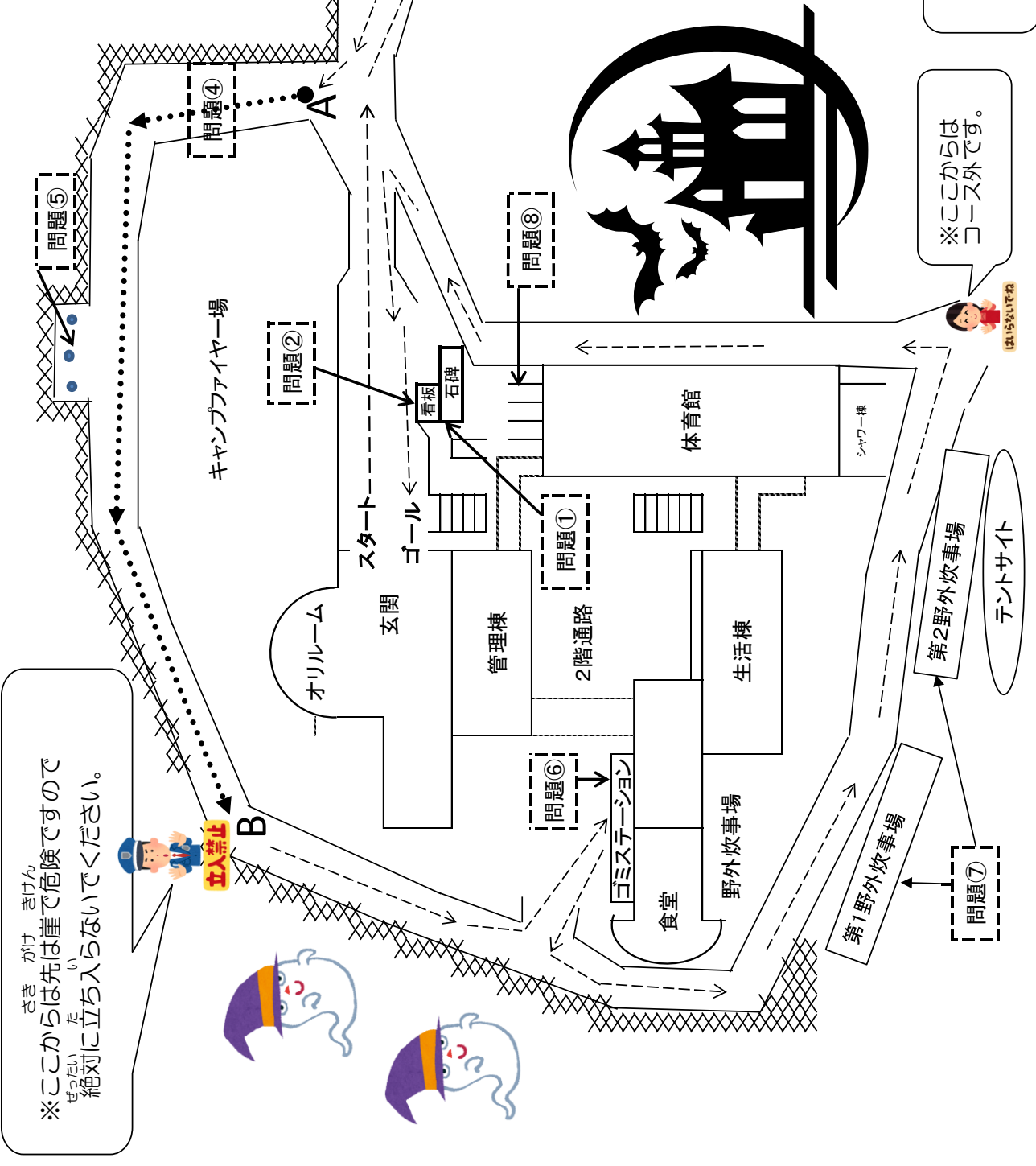
※ナイトハイクの注意点

- 玄関から地図の矢印に従って問題を解きながら歩いてください。
- 暗い場所がありますのでグループごとに懐中電灯を用意してください。
- グループ行動を守りましょう。
- 地図に書いてある危険な場所などには立ち入らないようにしましょう。
- 虫さされには十分注意しましょう。

鴨川青少年自然の家 ナイトハイク 地図 (30分コース)

※ここからは先は崖で危険ですので絶対に立ち入らないでください。

※この付近は崖になっていてフェンスやガードレールを越えないでください。



※ここからはコース外です。

※この付近は崖になっていてフェンスやガードレールを越えないでください。

※ここからは先は崖で危険ですので絶対に立ち入らないでください。

※入口の前は道路になり危険です。道路には出ないでください。



鴨川青少年自然の家 ナイトハイク

こた
答え

- この石碑には鴨川青少年自然の家での研修目的が4つの言葉で書いてあります。「規律」「協同」あと2つは？
- 千葉県指定の天然記念物は？
- 鴨川青少年自然の家の正門入口は海拔何mでしょう。
- 点線内(A ●.....▶ B)の範囲にあるソテツの数はいくつ？



- 国旗掲揚台の近くにある記号を探して答えに記入しましょう。
- ゴミステーションの分別の種類は「燃えるゴミ(生ゴミ)・ビン・ガラス・カン・蛍光灯」そのほかの3種類は？
- 第1、第2野外炊事場にあるかまどは全部でいくつありますか？
- 体育館前の利用団体代表者駐車場は何台の車が止められますか？

答え	
1	友愛
	奉仕
2	枕状溶岩
3	17.6m
4	16個
5	☆
6	ペットボトル
	灰(残灰) ダンボール
7	27炉
8	6台分

※ナイトハイクの注意点

- 玄関から地図の矢印に従って問題を解きながら歩いてください。
- 暗い場所がありますのでグループごとに懐中電灯を用意してください。
- グループ行動を守りましょう。
- 地図に書いてある危険な場所などには立ち入らないようにしましょう。
- 虫さされには十分注意しましょう。